

特268-42
12345678901234567890

43

紀元二千六百年

記念寫真帳

林田村

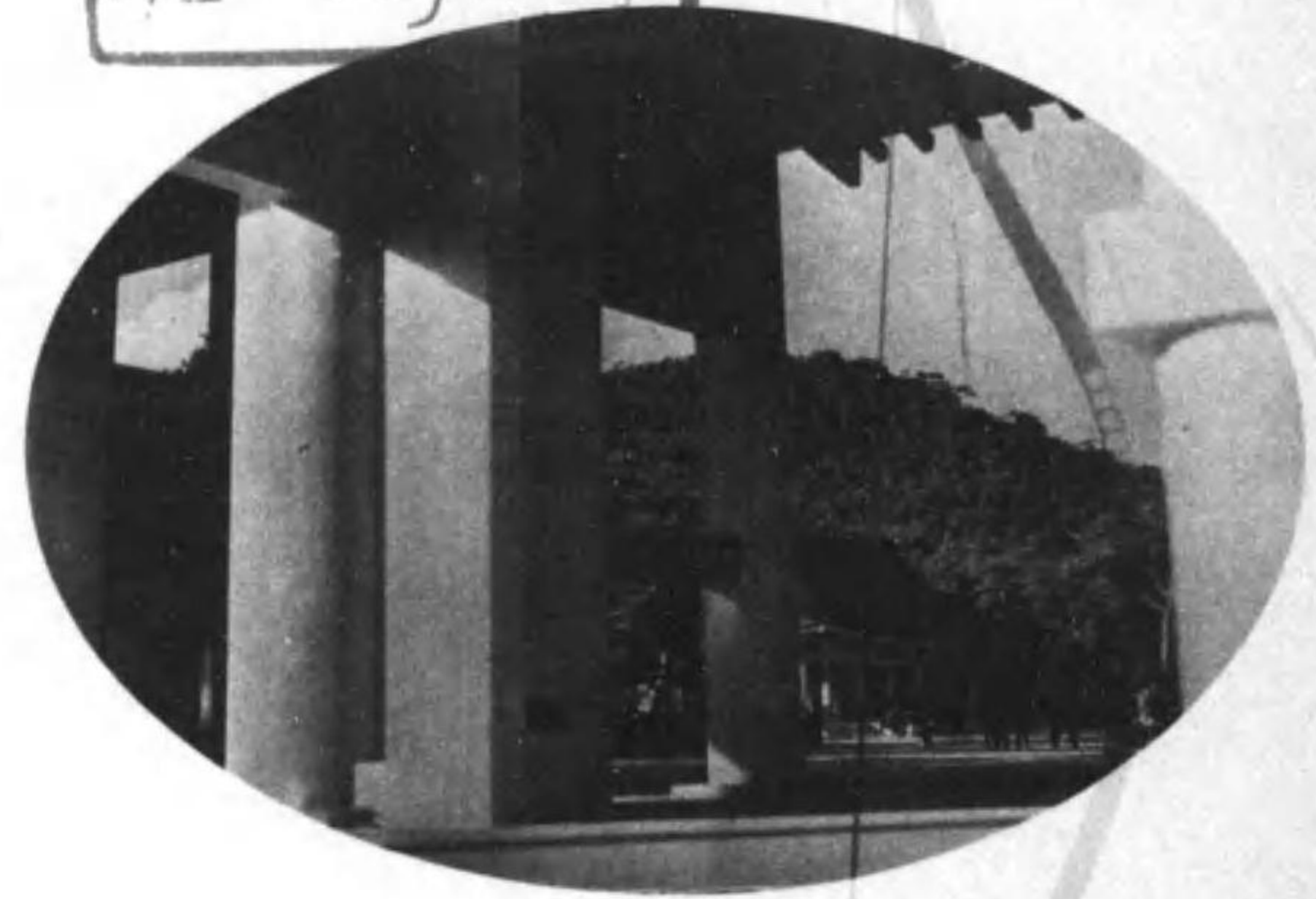
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 | 1 2 3 4 |

始



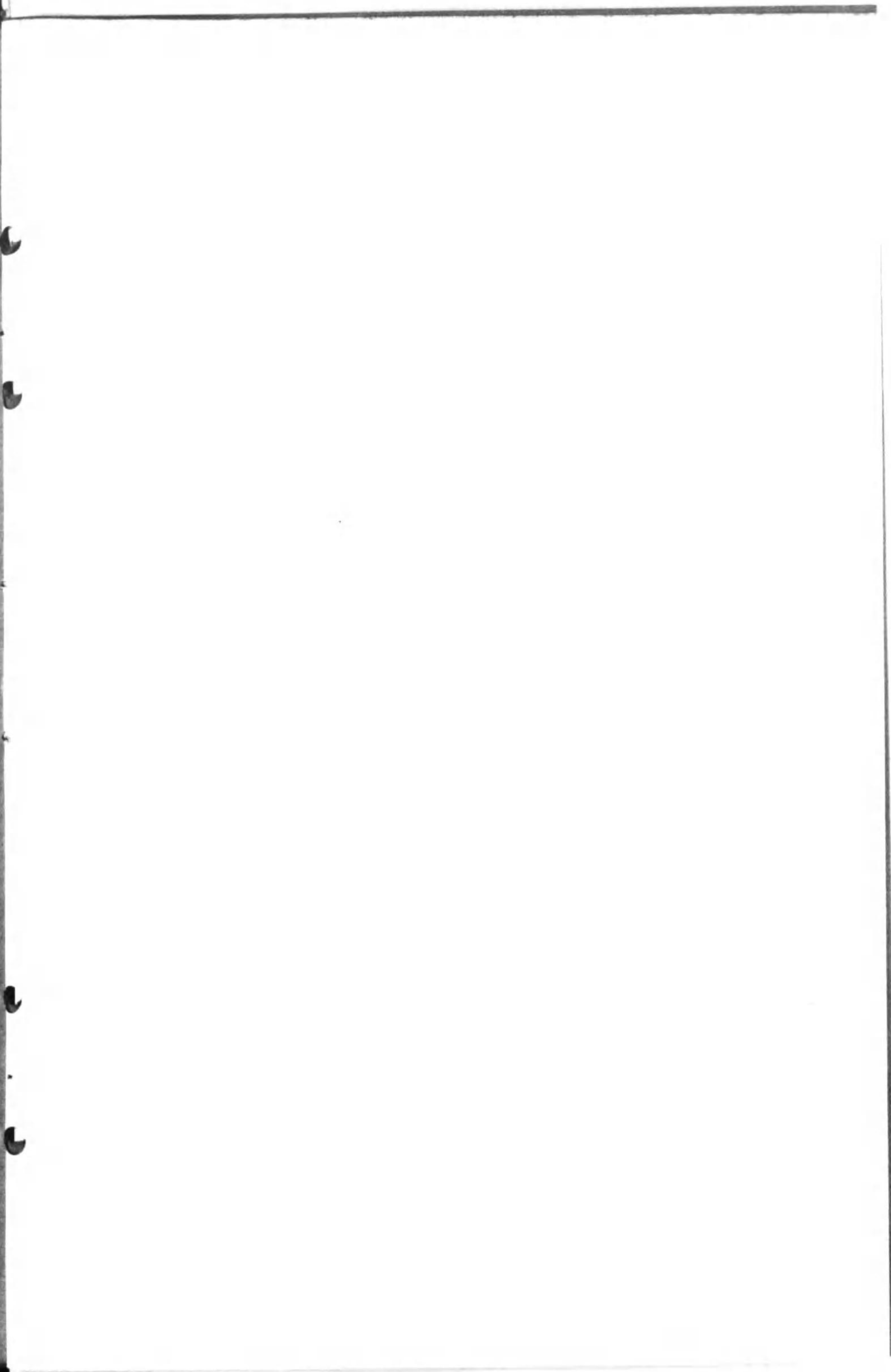
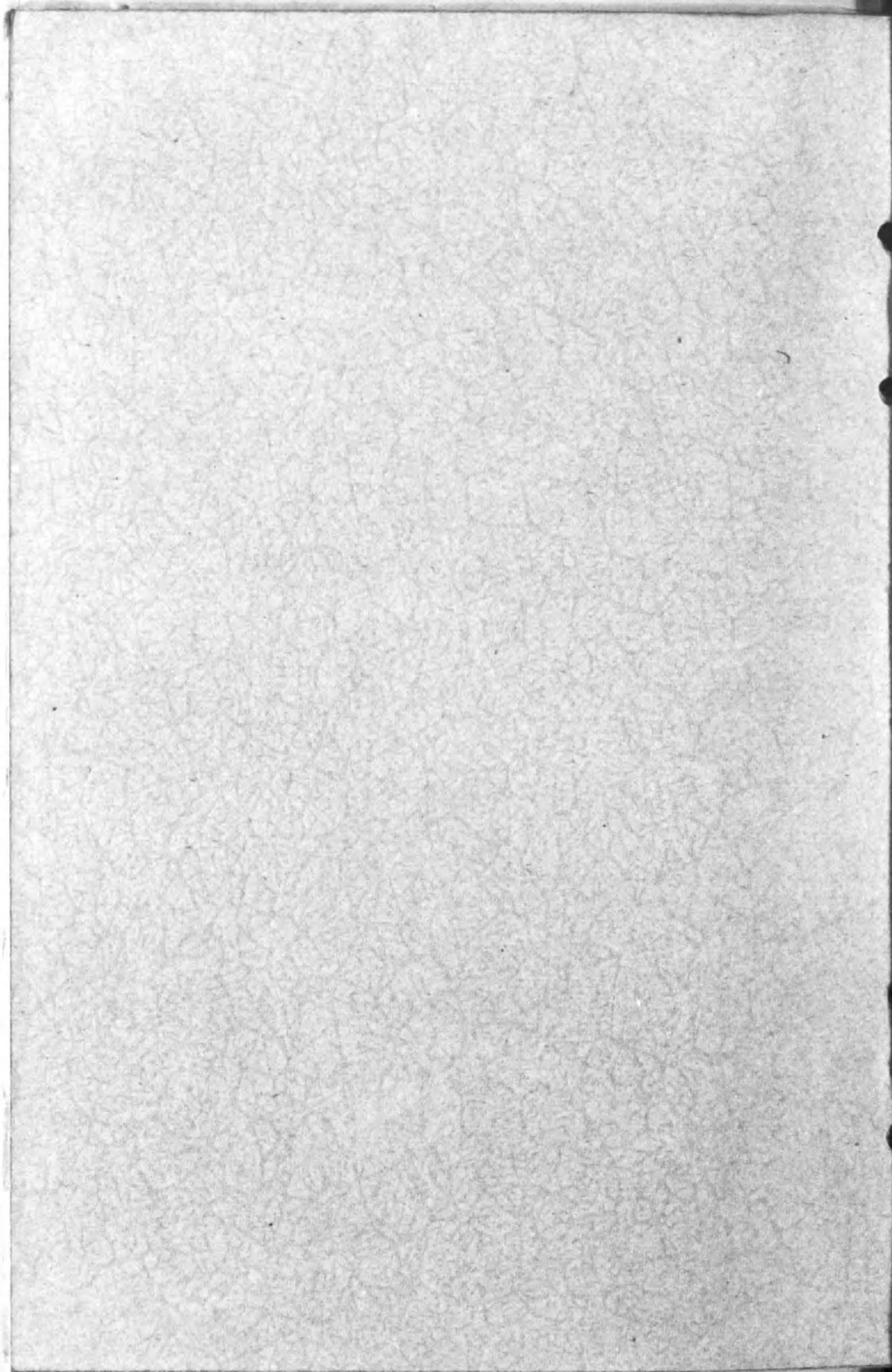
特268
43

年百六千二紀皇



村田林





[Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.]

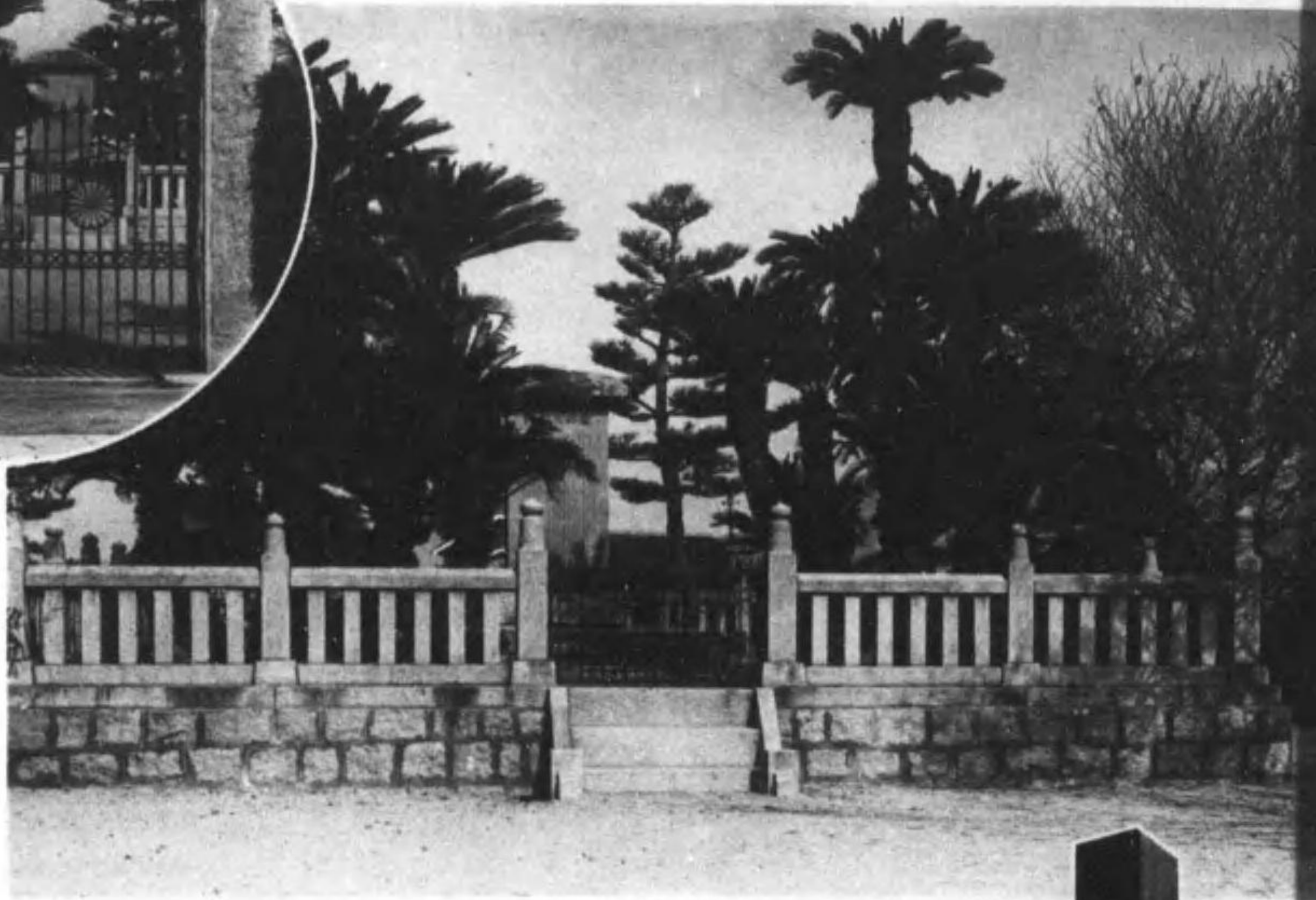


[A large, mostly blank white area on the right side of the page, possibly representing the reverse side of the paper or a blank page.]

雲井御所菊花門

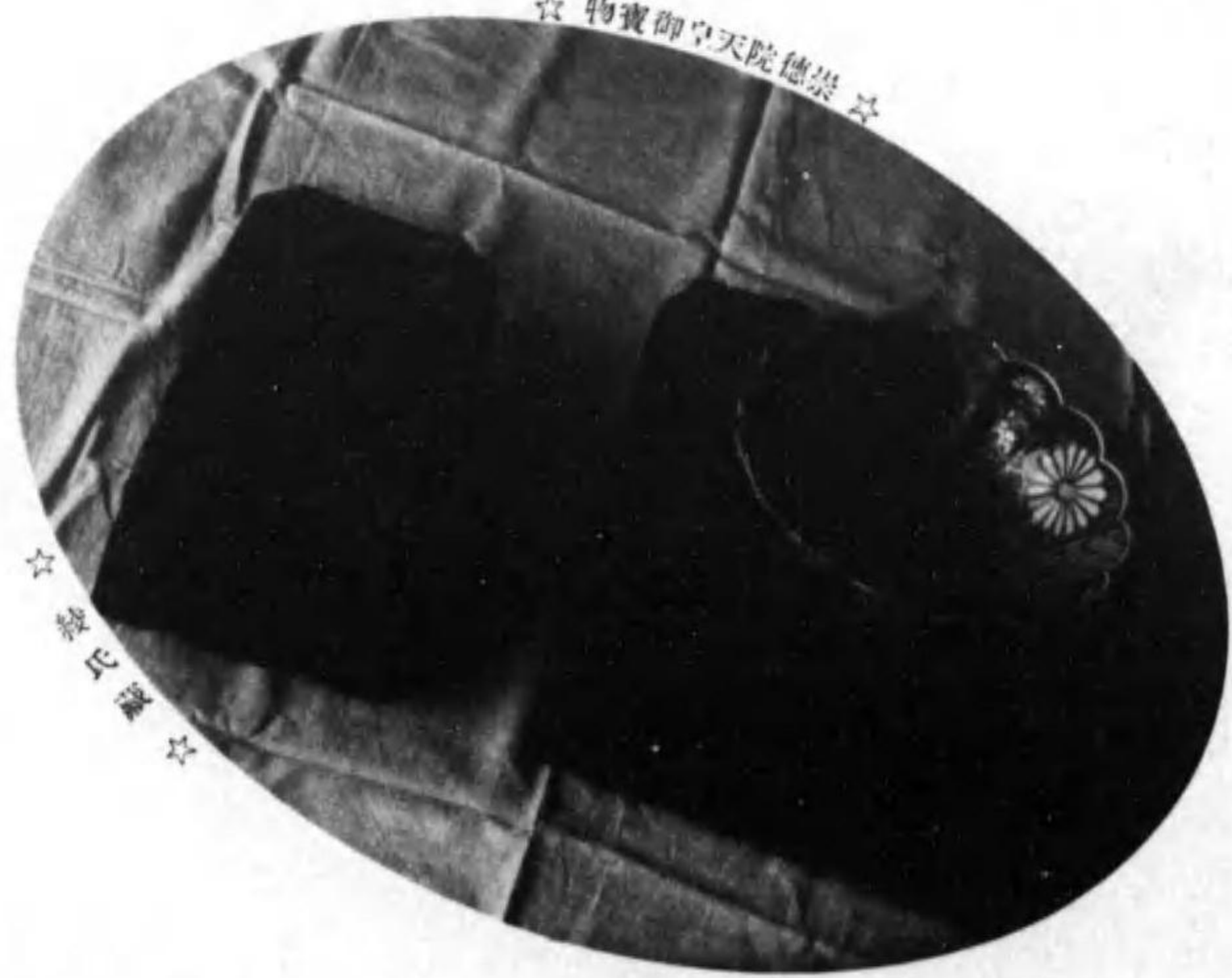


神靈に 額 につく



雲井御所

崇徳天皇御寶物



長命寺

長命寺跡ノ碑



綾氏宅



雲井御所跡

保元元年八月三日崇徳此地ニ御遷幸在鹿野太夫綾高遠ガ御堂ニテ參ケ年ヲ送リ給フ堂ノ柱ニ御歌御宸筆被遊
ここもまたあらぬ雲井となりけり
空行く月の影にまかせて
ヨリテ雲井御所ト呼フ
天保六年高松藩主松平頼忠御所ノ碑ヲ建ツ大正六年林田村地域ヲ擴張シ大ニ修築ヲ行フ

長命寺

宇長明寺ニアリ崇徳御駐蹕ノ所ナリ佛閣建轅境内方八町名高キ雲場ナリシガ天正年間長曾我部亂入ノ時兵火ニ罹リ遂ニ廢寺トナル天正六年林田村其城ニ標柱ヲ建ツ崇徳武士ヲ集メ射藝演習有シ所ヲ射場ト云フ近代マデ射木ノ跡アリシモ今ハ其跡ナク小社ノミ存ス郷人長命寺殿ト云フ

御寶物

崇徳天皇綾高遠ノ御殿ニオハス時御日常御使用遊サレシモノトツタフ。

綾家

綾高遠ハ、景行天皇ノ皇子、日本武尊ノ御子武甕玉ノ後裔ニシテ、高遠ノ女ニシテ上皇ニ侍セシ綾局ノ産ム所ノ男ニ御名ノ一字ヲ賜ヒテ嗣末ト名乗ラセテ之ヲ賜ヒ以テ嗣トナスト現綾家ハ高遠ノ後裔ナリ

☆ 像尊御音觀川中 ☆



～ 堂音觀川中 ～

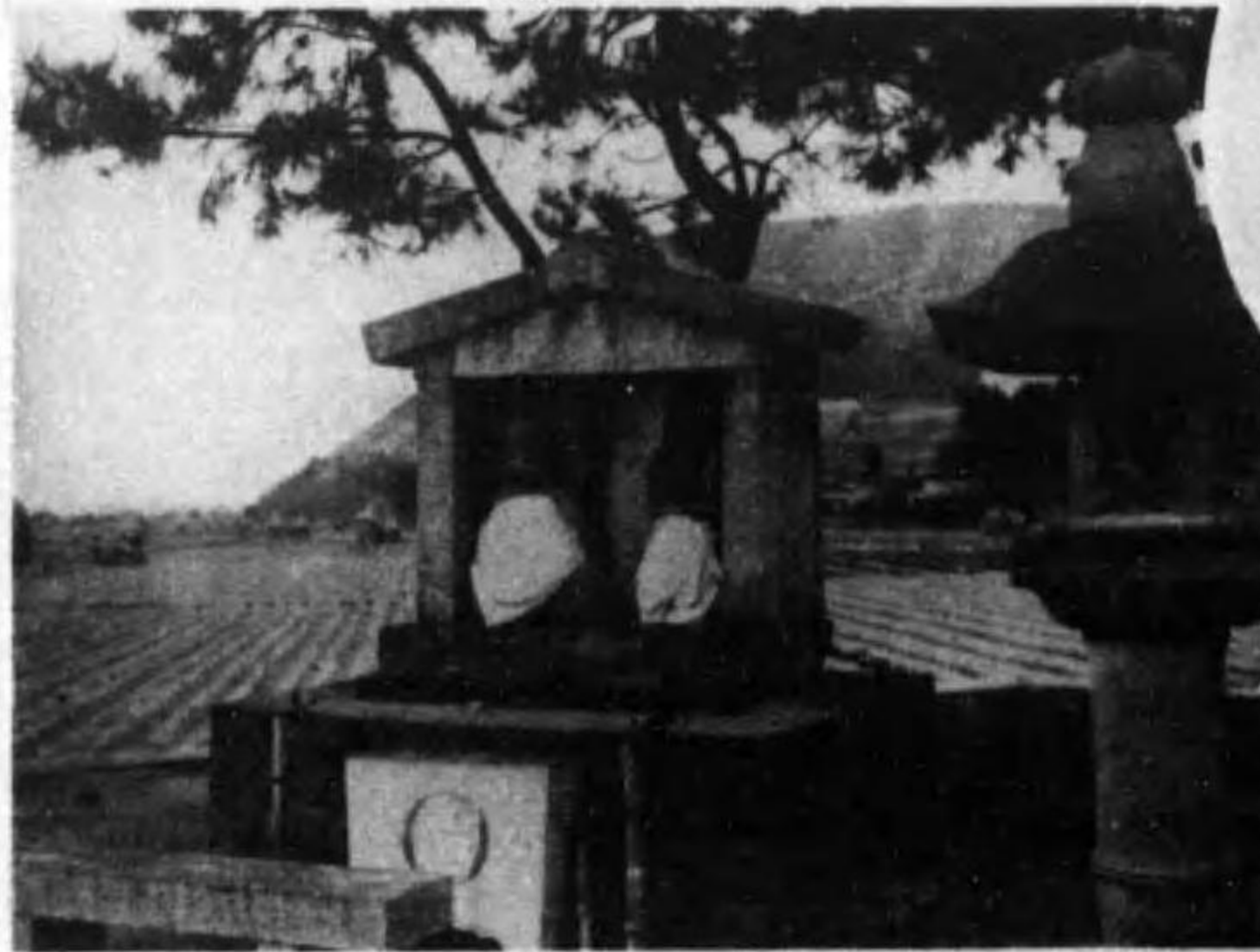


ぼけ行お訪

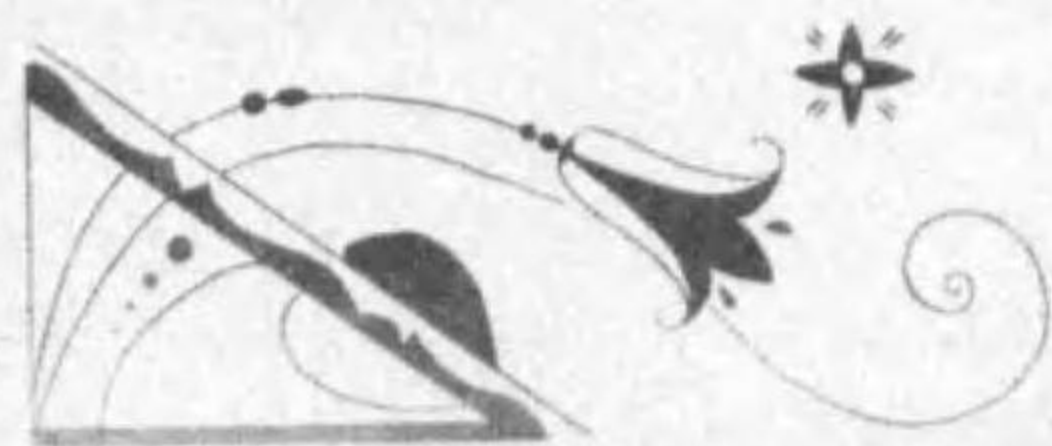
～ 松島千場戦古六十三 ～



☆ 場戦古六十三 ☆



三十六様乃木將軍遺愛ノ碑



中川 觀音堂

崇徳天皇守本尊安置ノ觀音堂ハ南三町ノ所ニ
アリシガ現在ハ雲井御所跡ニウツシアリ古ノ堂ノ附近ニ茶園ト云フ地名アリ上皇
御用ノ茶園ナリト。

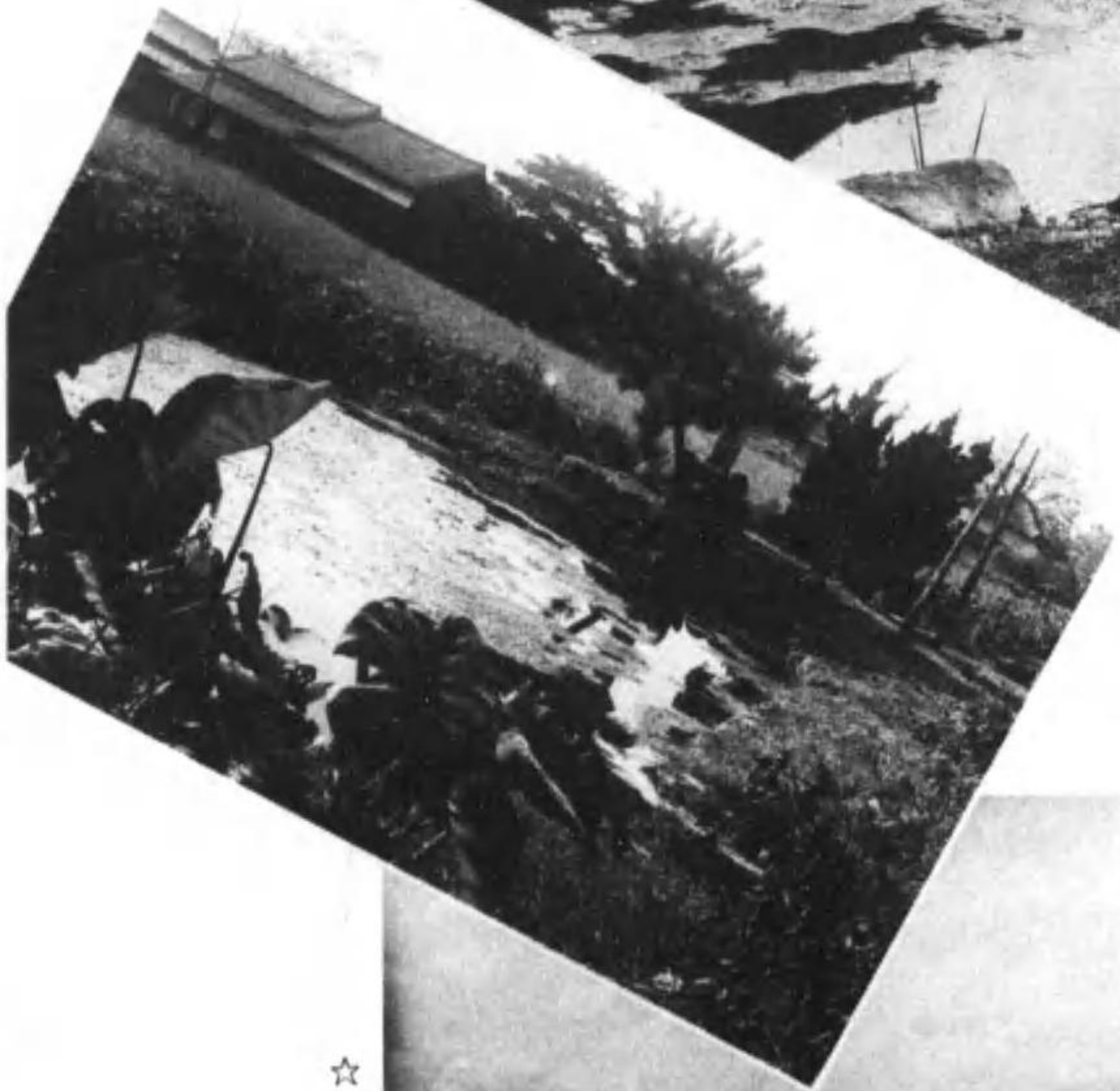
三十六古戰場

正平十七年七月二十四日南朝ノ將軍相模守細川清氏右馬頭細川賴之ノ兵參千ノ衆
擊ニ過ヒ奮闘戦死セシ所ナリ中山城山戦跡碑經塚等アリ、往昔中ノ御門廳中納言
家成補讃岐ノ任ニ下リ被川ノ邊ニ別業ヲ造リ川ノ風景ニ遊ビ千島ノ渡ルツ見テ
「霧深き綾の河邊に鳴く銜聲にや友の行方を知る」と詠ミタルヨリ其邸ノ松ヲ
衛ノ松ト云フ川筋洪水ノタメ今ハ變レリ大正六年樂師院住職小田僧正此地ヲ改修
昭和十五年十一月十三日史蹟ニ指定サル。

古へを偲び



崇徳院



崇徳上皇
御遊所ノ池



☆倉敷川☆



☆石碇西☆



☆石碇東☆

御遊所池

崇徳上皇深夕松ヶ浦ノ風光ヲ賞テ給ヒ歷々御遊所ヲ試ミ給フ時ニハ磯ノ砂ニ貝ヲ拾ハセ給ヒ或ハ日砂再松ノ間ニ涼ヲ納メ給フ。

倉敷川

崇徳天皇ノ御着船地ナラント古昔此邊一帯ヲ松山ノ津ト稱ス所謂棧ノ津ナレバ御着船ノ地點ハ蓋シ此ノ地ナラト

東碇、西碇（碇石）

神功皇后三韓ヲ攻メ給ハントテ豫備ヲ節テ西海ニ趣キ給フ時俄ニ颶吹テ御船危カリケレバ此ノ所ニ現存セル碇石ニ舟ヲツナギ諸ノ神達御船ヲ守護シ給フ中ニモ掛取ノ明神ハ左碇ニ立テ牛頭天ハ右碇ニ立テ給フ、左右ヲ東西ニ違シテ東碇西碇ト云フ今ハ碇ノ字ヲ書ク



☆社司 富家高由 ☆

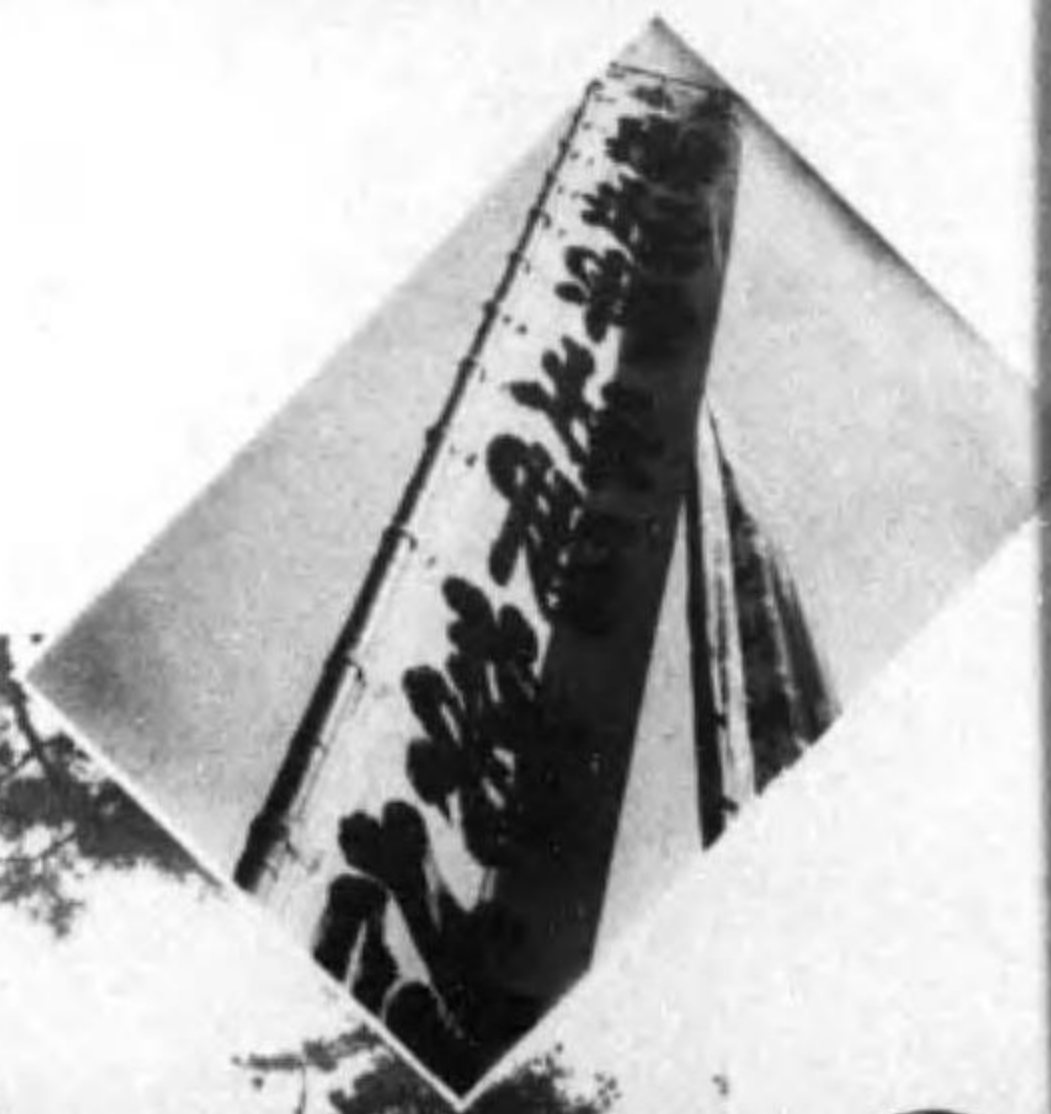
敬神崇祖



☆見取圖 ☆



御持物



總社神社御本殿

總社神社 祭神 伊弉諾尊 並國中大小神祇

天平九年諸國ニ留シテ國分寺一ノ宮總社ヲ建立セシメ給ヒシ時讚岐國ニテハ
 當社ヲ總社トシ奉リシト蓋シ當社ハ府中ヲ距ルニ北一里餘ニシテ參拜利便
 ナル事ト往古ノ古社ニシテ衆民ノ崇敬厚カリシ事トニ依ルナラン然ルニ嘉慶
 年中宮殿燒失シ明德元年細川武藏守再建ヲ奉仕ス
 其後天文二十年三好氏ノ修葺再興アリテ總社トシテ繁榮アリシニ天正年中兵
 火ニ罹リシヲ全氏子ノ奉仕ヲ以テ神殿並ニ附屬建物ヲ建立ス時ニ慶長二年ナ
 其後元禄十五年及明治三十五年ノ兩度ニ改築今日ニ及ブ明治五年郷社ニ列リ
 セラレ明治四十年神饌幣帛料供進ノ社ニ指定セララル
 附 總社 ハ國司國內ノ各神社ニ一々參拜奉幣スル儀ヲ略シ一神社ニ國中
 大小神祇ヲ奉齋シテ參拜スル社ヲ總社ト云フ



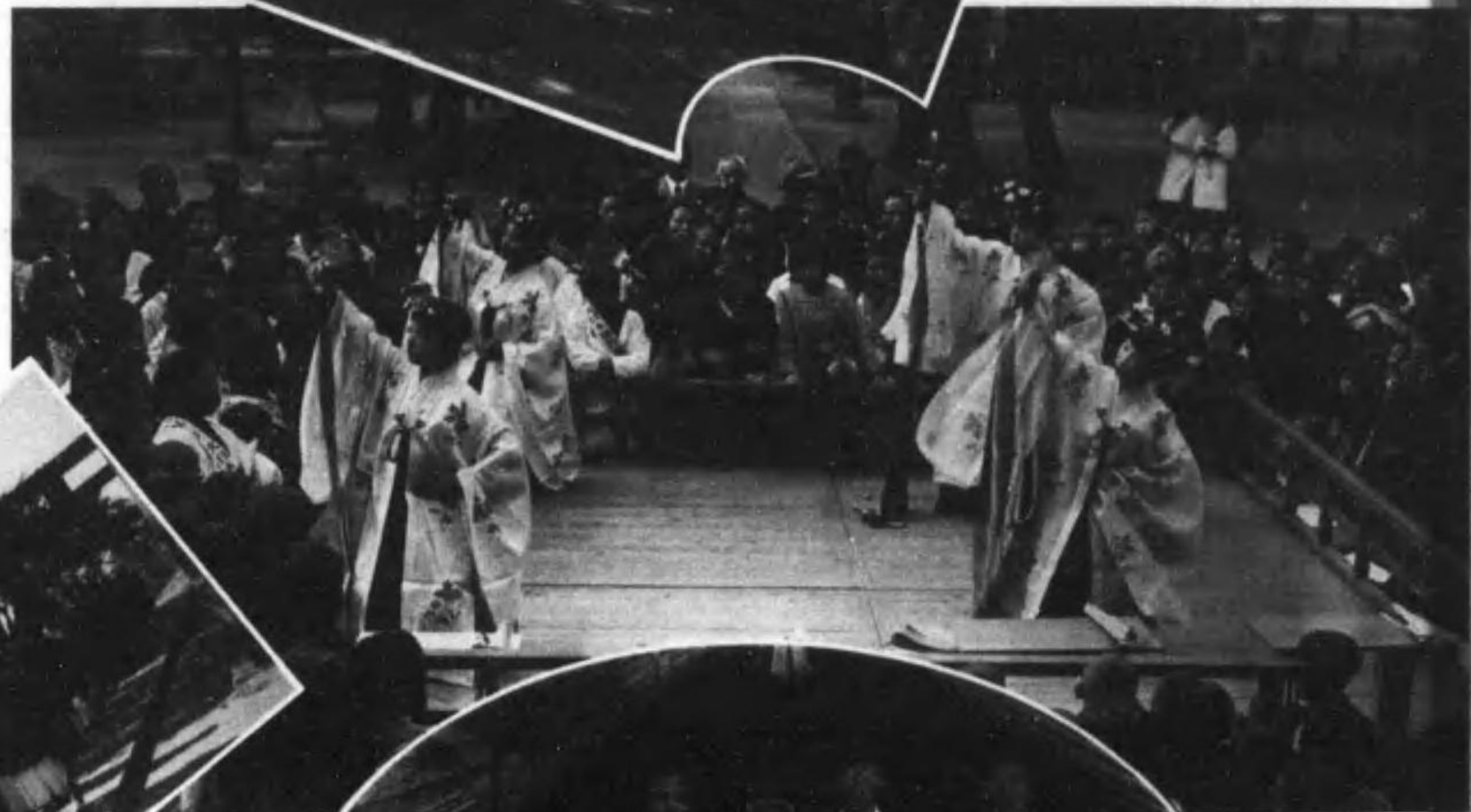
～ 進参使幣奉 ～



～ 社神島殿 ～



～ 納奉舞ノ安浦 ～



～ 代總子氏 ～



… 人 樂 …



～ 所務社社神社總 ～

浦安の舞

世紀の祭典にあたり
各宮に奉納せし舞樂なり
浦安の舞姫
谷久松
濱崎
明石
末澤
子代美代

氏子總代

社掌
小早川竹市
富家高辨
中川精逸
濱崎嘉一

社司

八木龜三郎
加賀吉清
富家高由
猪熊忠市郎
綾野巖太郎



☆ 殿本社神倉總 ☆

總倉神社



氏子總代



浦安ノ舞奉納

☆ 所務社 ☆



村社總倉神社

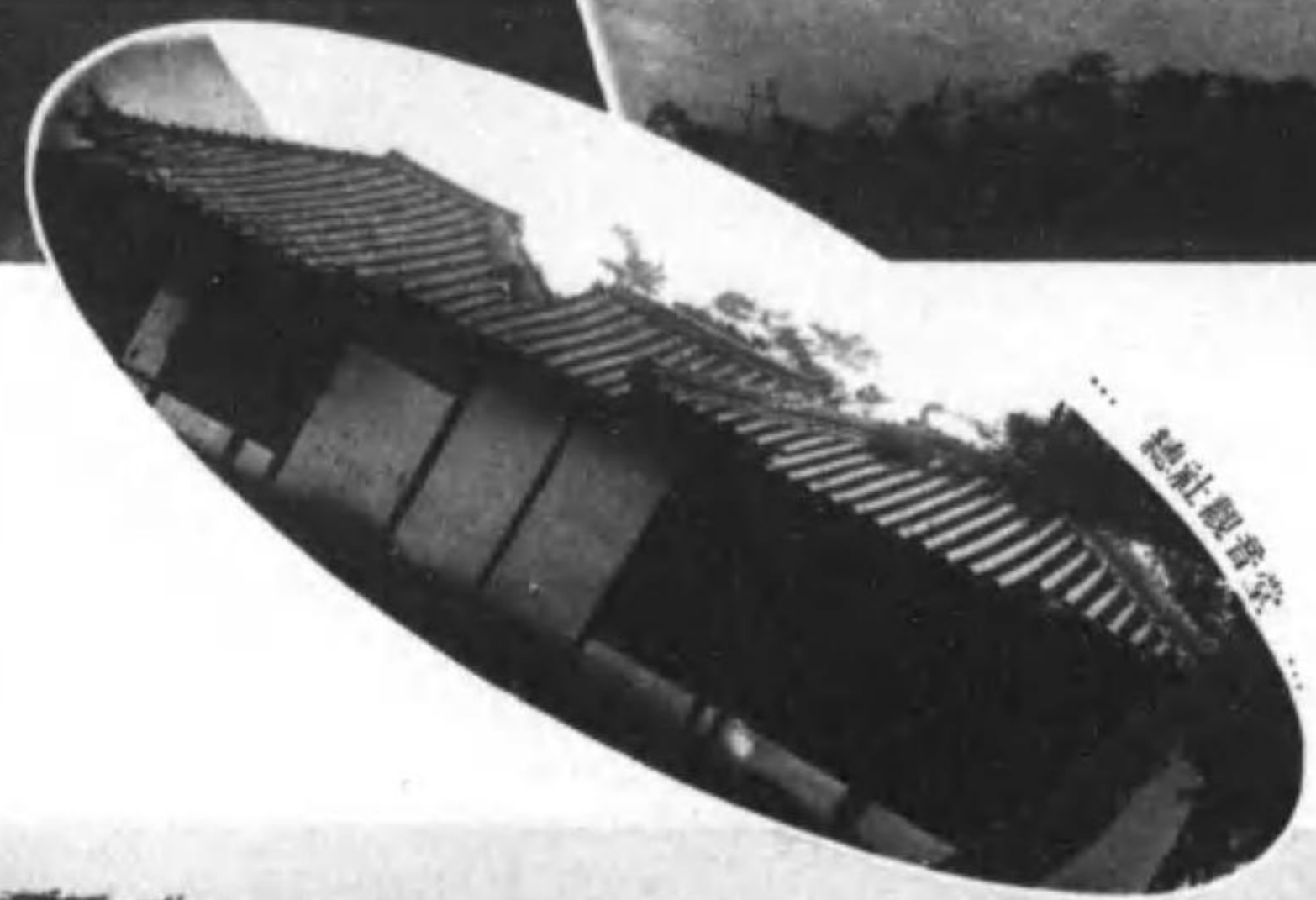
神代速須佐之男命此地ニ假泊シ賜ヒシ舊跡ナルニヨリ社殿ヲ造營此神ヲ
祀リ牛頭天ト云フ後世國司在勤ノ時此地ニ官倉ヲ建テ正稅惟稻ヲ貯藏
シタルガ故ニ總倉ト號ケ其鎮守トナセシ當社ヲ總倉神社ト稱フルニ至ル

氏子總代

桑野嘉左衛門
池田只次郎
野田太郎
富家秀隆



總社神社遠望



總社神社



總社神社祭典渡御



總社神社祭典渡御



八坂神社



馬神



八幡猪熊



支那事変戦死者と慰霊祭



～ 祭願新久長運武 ～



▲ 慰霊祭 ▼



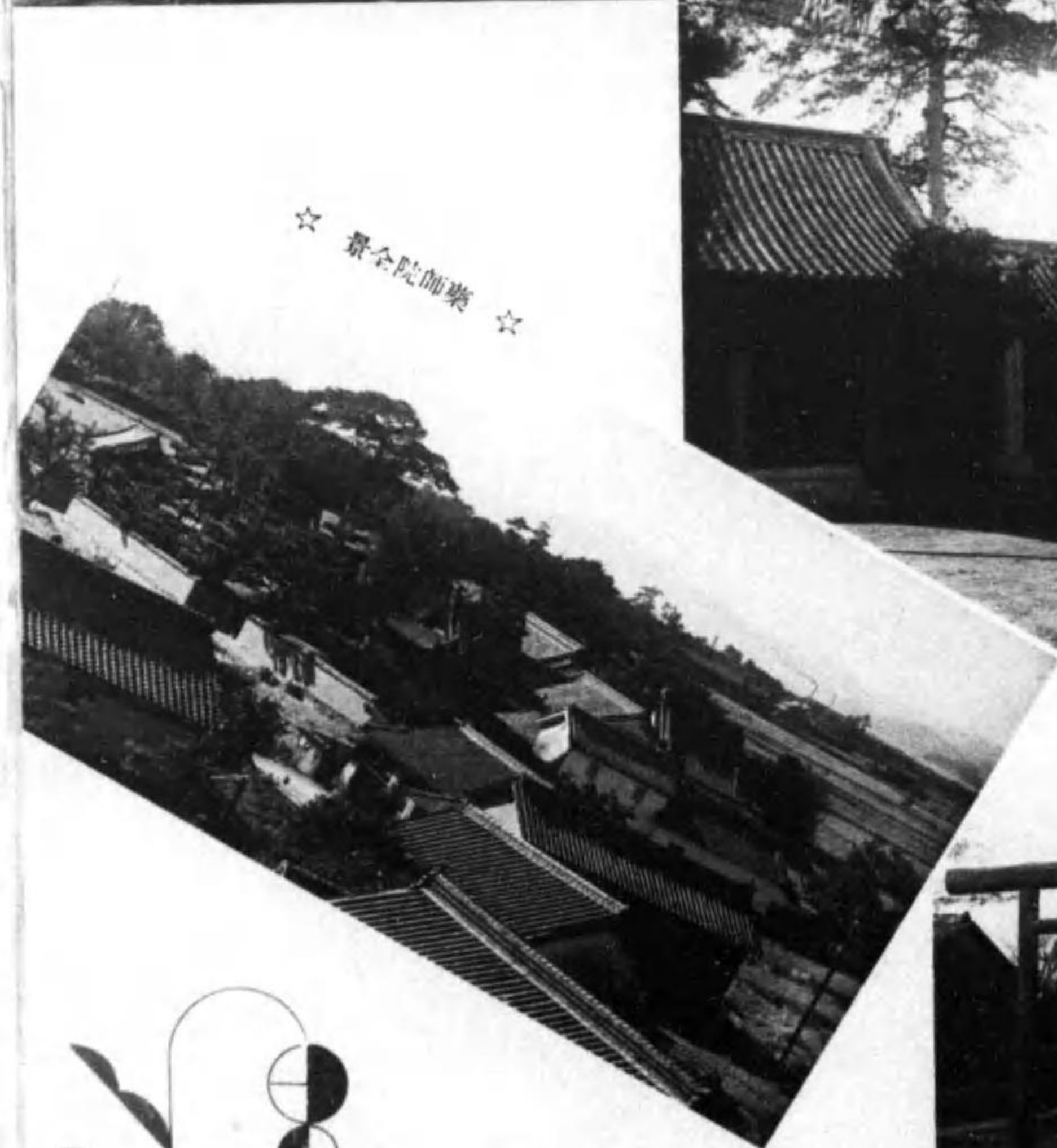
- | | | | | | |
|--------------------|---------------------|----------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| 故陸軍歩兵伍長 宮 幸 良 明 | 故陸軍歩兵上等兵 浦 島 壽 一 | 故陸軍輜重兵上等兵 野 角 員 一 | 故陸軍輜重兵伍長 和 田 信 由 | 故陸軍歩兵上等兵 富 家 安 高 | 故陸軍輜重兵上等兵 富 家 其 吉 |
| 故陸軍工兵上等兵 谷 義 久 | 故陸軍歩兵上等兵 富 家 繁 信 | 故陸軍歩兵伍長 山 本 房 吉 | 故陸軍歩兵上等兵 山 田 春 吉 | 故陸軍歩兵伍長 北 原 嶋 太 郎 | 故陸軍工兵上等兵 八 田 數 一 |
| 故陸軍歩兵伍長 川 井 秋 由 | 故陸軍輜重兵上等兵 松 田 穂 | 故陸軍輜重兵上等兵 高 木 清 | 故陸軍歩兵上等兵 松 原 清 | 故海軍一等水兵 津 村 清 | 故軍陸砲兵上等兵 津 村 清 |

院 師 藥

☆ 住職 鈴木耕蔵 ☆



☆ 内院師藥 ☆



☆ 敷金院師藥 ☆



☆ 山賀神社 ☆



☆ 金比羅神社 ☆

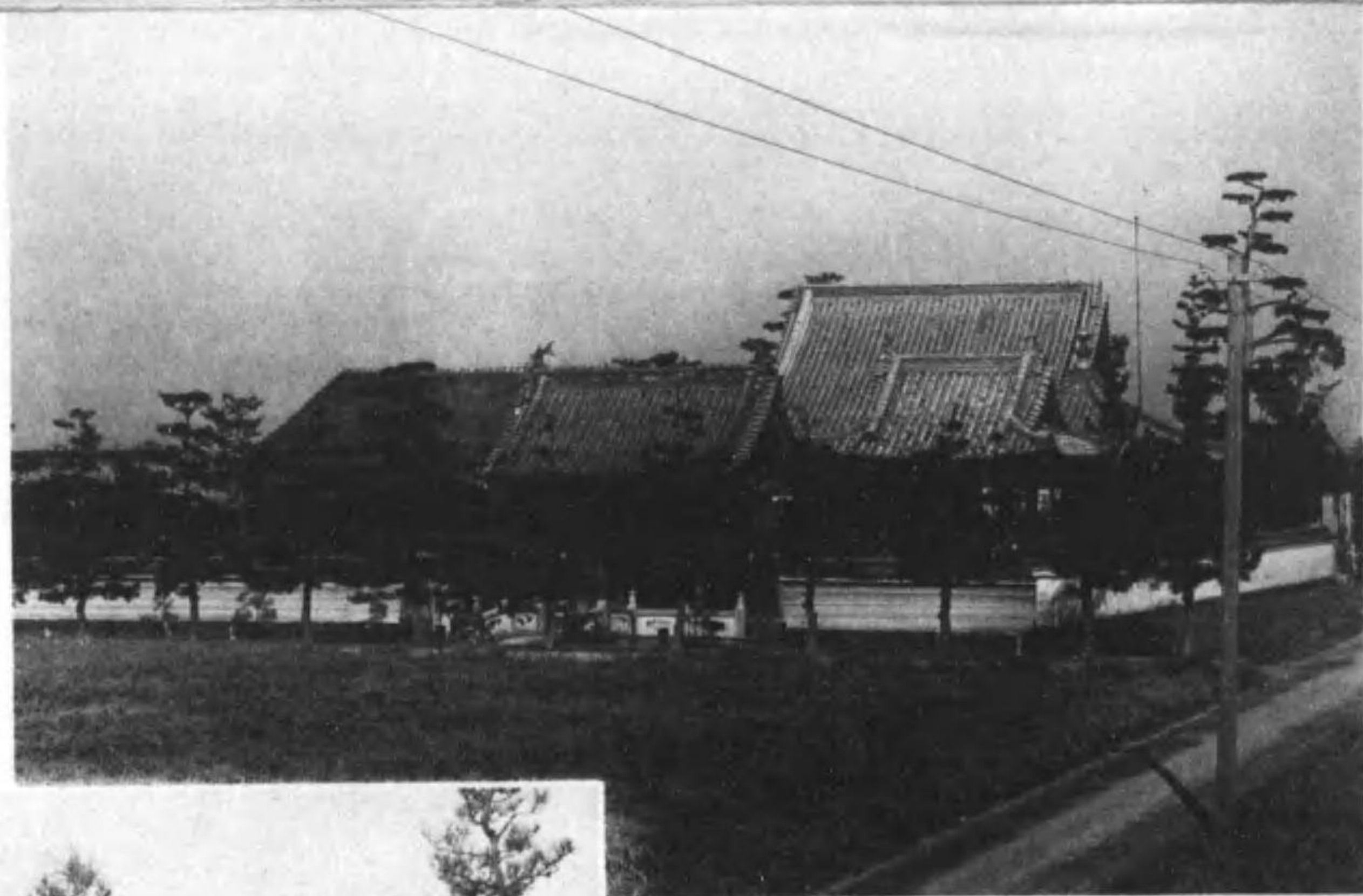


☆ 廣瀬神社 ☆

藥 師 院

眞言宗仁和寺ノ末寺午頭山總藏寺ト號ス天平ノ昔行基開基空海再興天正年間兵燹ニ罹リ總社ヨリ西掛ニ移ル昔ハ總社神社ノ別當ニシテ守護寺ト稱ス又地藏寺ト改メ後今ノ名ニ改ム寺寶多シ

9



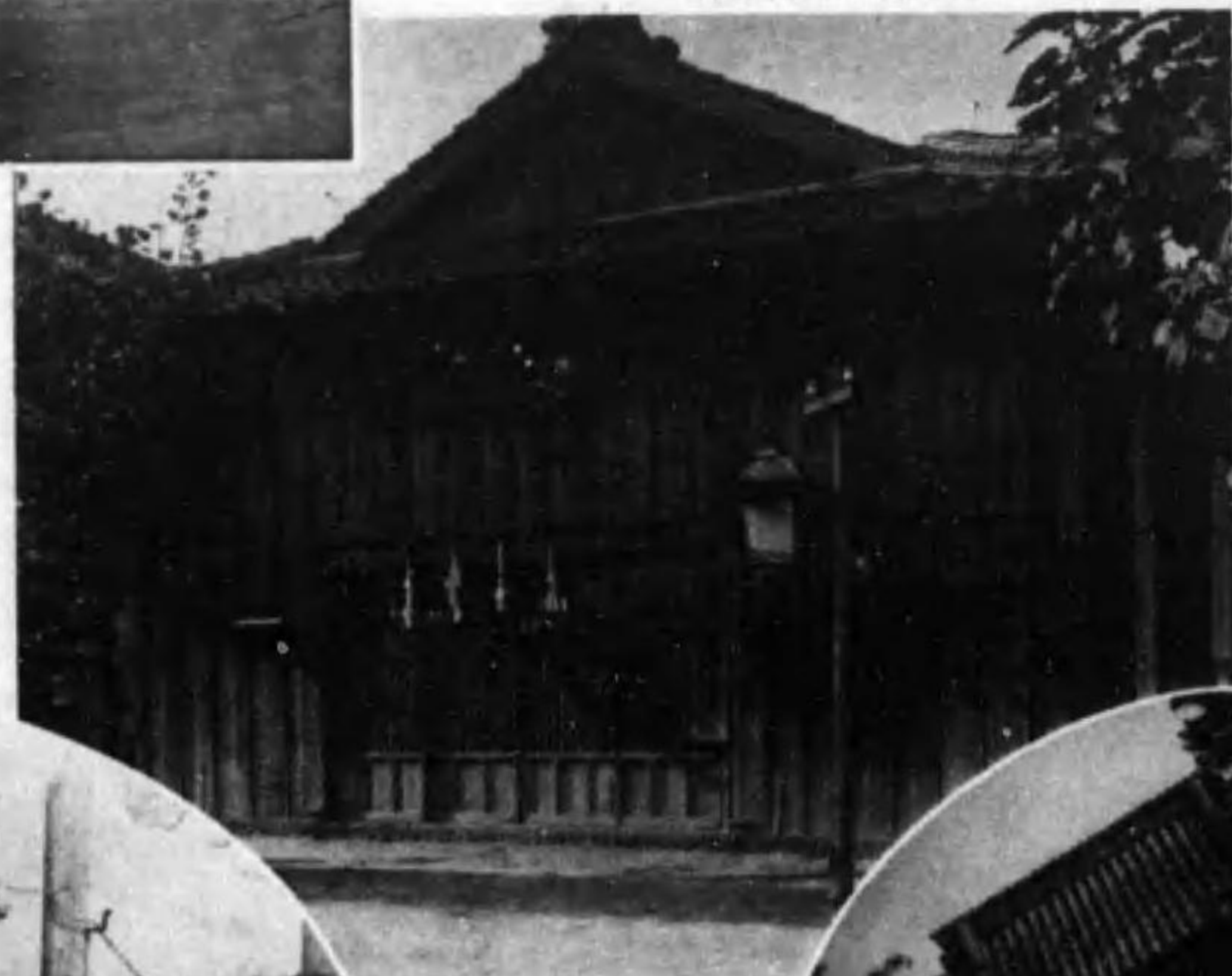
～ 西招寺全景 ～



～ 綾北天理教女會所 ～

法燈は燵

～ 金光教田林會所 ～



～ 三光堂 ～



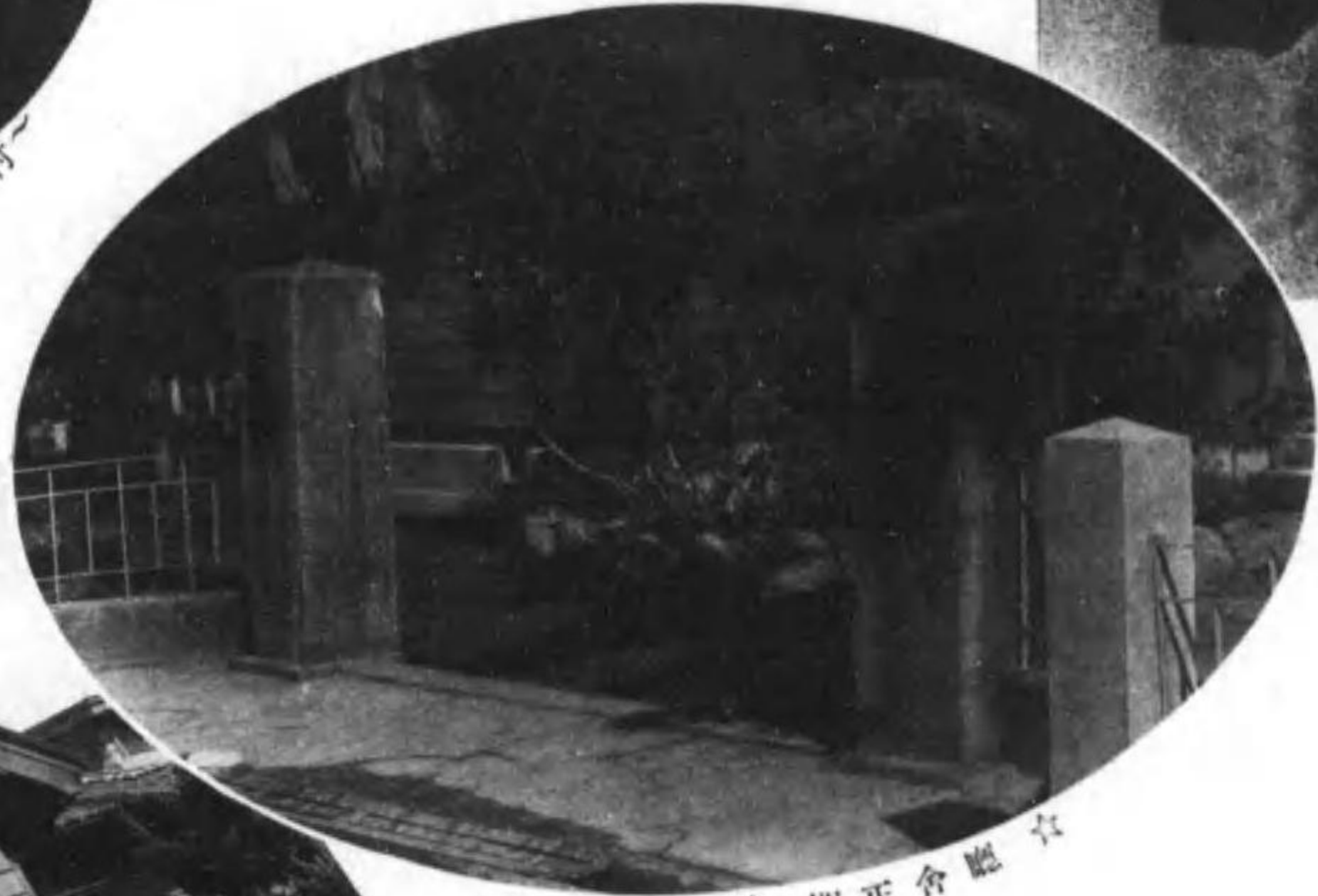
～ 黒住教田林會所 ～

西招寺
真宗西本願寺の末寺なり天正年間創立
元禄年間再興光瑞山と稱す



長村 浦和之進

林田村
の
廳舎



☆ 廳舎正門 ☆



☆ 庭園 ☆



☆ 林田村役場全景 ☆

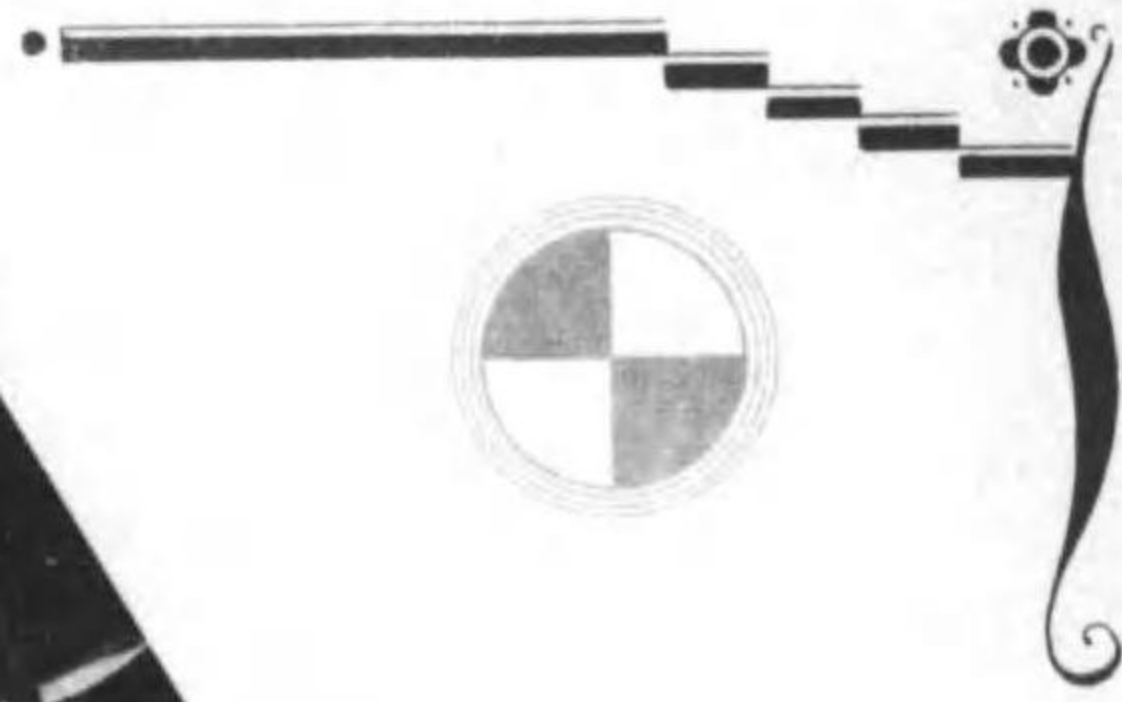
| 主要物産 | 水田 |
|--------------|----------------------|
| 農産物收穫高 | (三百町歩) |
| 米 | 八五三二石 |
| 小麥 | 五五五八石 |
| 裸麥 | 一九六六石 |
| 甘藷、除虫菊(甘蔗其他) | 金高五八、二九二圓 |
| 食塩製産高 | 金高三三、五〇三圓 |
| 苦汁(工業藥品) | 金高一〇、二一、八三一圓 |
| 材木及製材販賣高 | 金高一、三四五、四〇〇圓 |
| 副業収 | 金高八〇〇、〇〇〇圓 |
| 漁獲物 | 金高一四三、七四四圓 |
| 合計 | 金高一、二、〇〇〇圓 |
| 面積 | 〇、三八二方里 |
| 地勢 | 東松山村、西坂出町、南加茂村、北瀬戸内海 |

本村ハ後歌郡ノ北方ニ位シ東西二十丁、南北二十五丁全村平地ニシテ地質砂積土ナルト北條池掛リノ末端ナルヲ以テ旱穀ノ害ヲ蒙ラサルコト種ナルモ幸ニ北方海岸ニ五十軒前ノ最良塩田ヲ有シ多大ノ食塩ヲ産出スルヲ以テ村民ノ生計ヲ助タルコト夥ナカラス而シテ林田港ハ海岸ノ中央ニ在リ明治四十四年度ヨリ港内並ニ航路ヲ浚深シタルニ因リ爾後船舶出入ノ便益頗ル多大ナリ

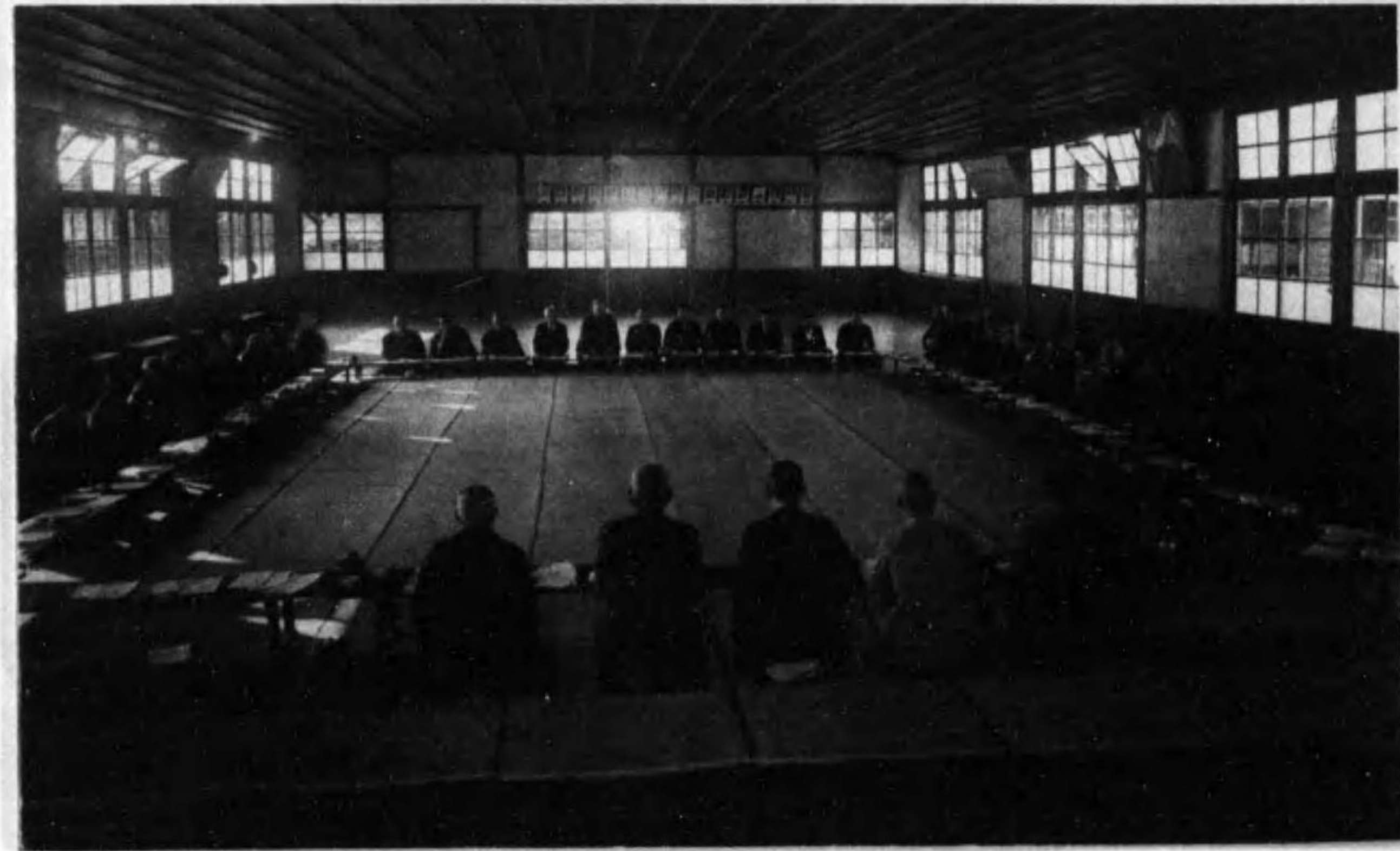
管轄ノ沿革
本村ハ舊高松藩執政以來林田村ト稱シ市町村制施行ノ後モ從來ノ通り林田村ト稱シ現今ニ至レリ
昭和十五年十一月末日現在
人口 一千七十五戸
本籍人總數 七千三百二十五人
出寄者 二千八百十一人
在住者總數 五千百十二人
内 本籍人 四千五百十四人
入寄留者 五百九十八人
位置 林田村字東梶乙六百三十六番地ノ一
現役場 昭和七年四月起工
全 年十一月竣工
昭和七年十二月十八日舊廳舎ヨリ本廳舎ニ移轉



林田村舊廳舎



～ 村會議員 ～



村常會

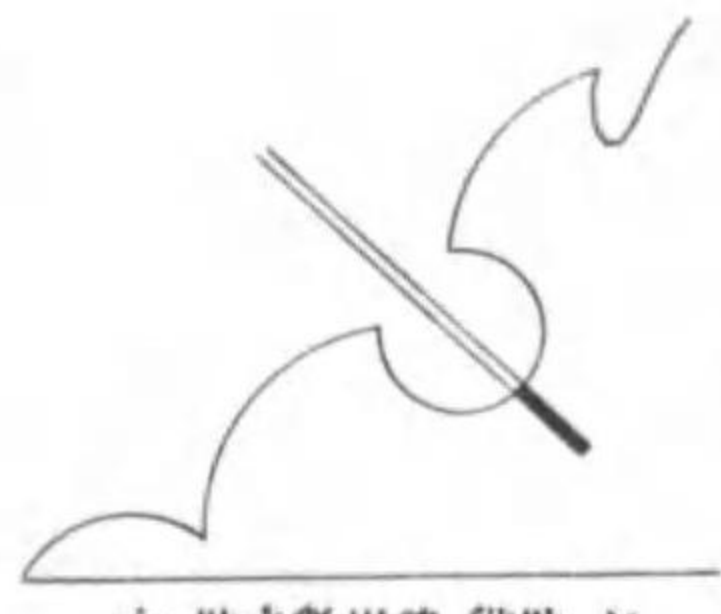
舊廳舎

位置 林田村字城ノ角二千三百九十六番地第二

本廳舎ノ建築ノ歲次明ナラサルモ市町村制實施以前戶長役場時代ノ初ニ於テ建築セラレタルモノト云ヒ當時ハ郡内一ノモダンツ誇ル立派ナモノタリシガ時代ノ進運ニトモナヒ村ノ發展ト自治事務ノ澎張ニ因リ供登ヲ感スルニ至リ新廳舎建築セラレ昭和七年新廳舎ニ移轉シ昔年ノ形跡ヲ留ムニ至レリ

村會議員

- | | | | | |
|--------|--------|--------|-----------|---------|
| 北村 竹太郎 | 上 | 前川 寅太 | 前 | 八木 龜三郎 |
| 濱崎 嘉一郎 | 賀 謙 | 猪熊 繁 | 演 崎 金平 | |
| 川 井 孝行 | (助役) | 明 石 明 | 眞 鍋 一 森 助 | |
| 請川 數之助 | 眞 助 | 吉 野 淺吉 | (村長) | 松浦 和喜之進 |
| 谷 眞 | 綾 野 平 | 藤 本 甚六 | | |
| 入宮 一馬 | 小西 良之進 | 中川 作太郎 | | |
| 富家 林五郎 | | | | |



☆ 村長執務 ☆

☆ 助之數川請役助 ☆



~ 助之佐熊猪役入牧 ~



助役



☆ 役場吏員 ☆



☆ 吏員執務 ☆

| | | | | | | | |
|------|-------|--------|------|------|-------|------|-----|
| 平尾輝雄 | 横田織雄 | 猪熊茂一 | 富家高澄 | 猪藤一英 | 川井數雄 | 藤本政漢 | 横井猛 |
| 平尾正男 | 請川數之助 | 松浦和喜之進 | 村長 | 牧人役 | 猪藤佐之助 | 北村正己 | |



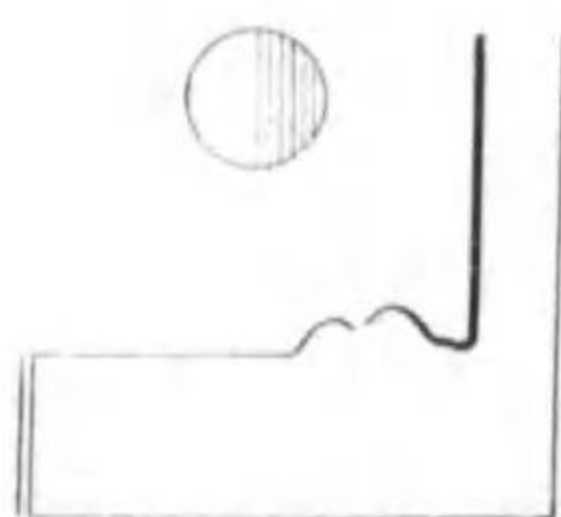
～ 長合組稅納 ～



納稅組合
組合數三十八
各組合は特別
の努力を盡し
公課諸稅を納
期間内に完納
するの美風を
作れり



～ 員査調計統 ～



～ 長合組生衛 ～



國勢調査員

昭和十五年國勢調査記念



~ 室務事會農 ~



~ 員議評會農 ~



設立
明治三十四
年三月
會員數
名一千二十三

農會長 松浦和喜之進
技術員 藤本政儀



~ 員助獎事農 ~



組合數四十
組合員
名九百八十三



~ 長合組良改事農 ~



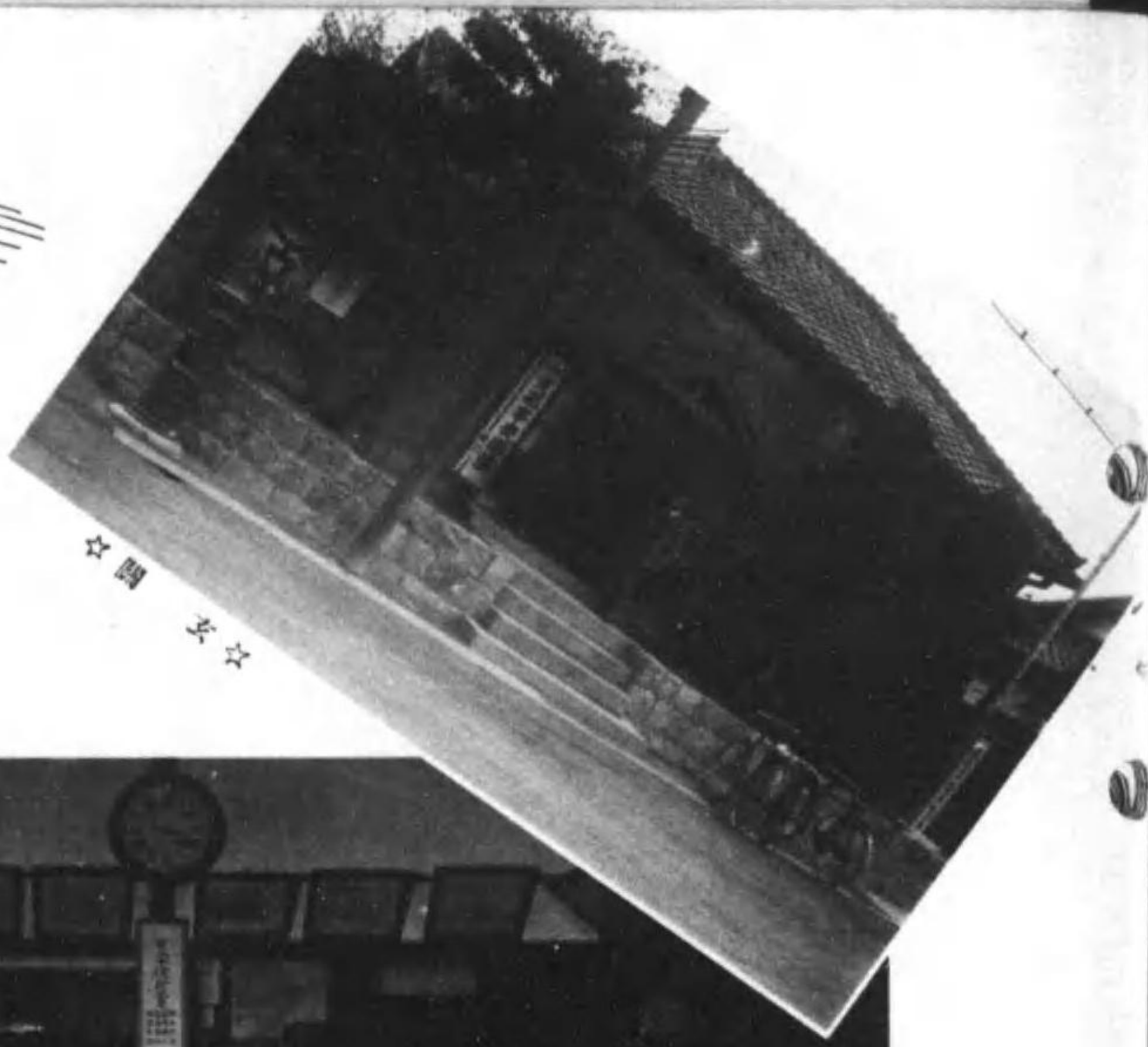
林田郵便局

局舎所在地 林田村三四七三
 開設 大正十五年三月二十六日
 電信電話開始 昭和四年三月一日
 電話交換開始 昭和四年十二月十一日
 初代局長 富家敏麿
 現局長 富家友太郎
 現從事員 八名
 電信發着數 五、三五一 (十四年末測)
 電話通話數 一二七、九〇〇
 爲替受拂金額 七一、九〇〇 (十四年末測)
 貯金現在額 一六七、九〇〇 (十五年十一月末測)
 振替貯金受拂額 七六、八〇〇 (十四年末測)
 國庫金受拂額 七六、三〇〇
 年金恩給拂渡額 七八〇〇
 保險契約受拂數 五一四口

通信は心は



☆ 局長 富家友太郎 ☆



☆ 局舎 ☆



☆ 執務状況 ☆

國債賣出 國債賣出 國債賣出

國債賣出 國債賣出 國債賣出

國債賣出 國債賣出 國債賣出

國債賣出 國債賣出 國債賣出



☆ 階段 ☆

林田村紀元二千六百年記念貯金組合規約

- 第一條 本組合ハ林田村紀元二千六百年記念貯金組合ト稱ス
 - 第二條 本組合ハ本村在住者ヲ以テ組織ス
 - 第三條 本組合ハ光緒アル紀元二千六百年ヲ嚮ヘテ皇國ニ享テクテ幸甚ク感謝シ皇國ノ恩徳ヲ眞實ニ奉ルヲ本村親善活動の爲メ行ハルヲ以テ目的トス
 - 第四條 本組合ハ前條ノ目的ヲ達スルヲ以テ定ムル方法ニ依リ貯金ヲ爲スモノトス
 - 第五條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク
 組合長一名 副組合長一名 部長若干名
 但シ役員ハ何モ無任トス
 - 第六條 組合長ハ組合ヲ總理シ副組合長ハ組合長ヲ輔佐スモノトス
 - 第七條 組合長ニ付シテ副組合長ニ助役ヲ補シ部長ニ任ズルヲ得ス但シ部長ハ組合ニシテ部長一名以上ヲ置クモノトス此ノ限リニアラス
 - 第八條 本組合毎年一回役員ヲ開キ事務ノ報告ヲ爲スモノトス但シ必要ノ場合ハ臨時役員ヲ開ク事ヲ得
- 第五條ノ役員ノ任期ハ各役員名簿ノ所定額貯金トシテ昭和十五年十月ヨリ滿テケルヲ以テ取リ分レトス
- 第六條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第七條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第八條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第九條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十一條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十二條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十三條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十四條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十五條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十六條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十七條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十八條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第十九條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ
- 第二十條ノ組合長ハ毎月一圓以上ノ貯金ヲ納メテシテ

☆ 坂出專賣局林田
塩收納取扱所 ☆



諸官廳



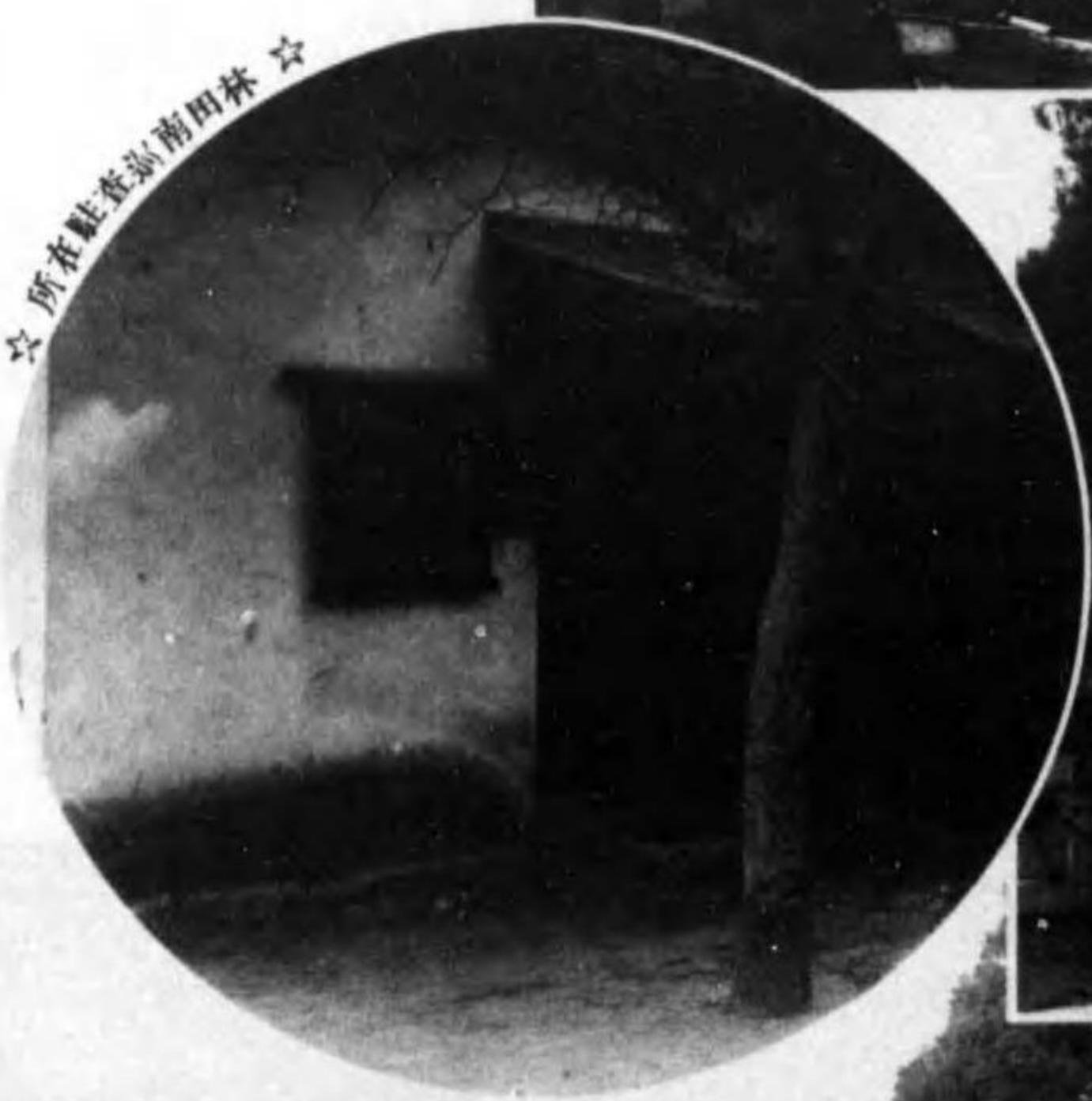
☆ 現狀納收塩食 ☆



☆ 定額塩食 ☆



☆ 所本駐査島南四林 ☆



☆ 林田北巡査駐在所 三好巡査 ☆



☆ 林田隔離病舎 ☆



專賣局林田塩取扱所ト塩田

幕末時代マデ林田海岸一帯ノ堤防ニハ人家ナク只濱ノ松風寂シク堤ヲ訪ゾルノミナリシガ明治二年瀧虎三郎綾川口ノ東ニ十竈ノ鹽田ヲ築ク後明治二十一年村長中條六三郎等主唱シ郡長及ビ郡内資産家ト謀リ林田鹽産株式會社ヲ起シ工費參萬六千圓ヲ投シ同三十四年四十九町歩三十竈ノ鹽田ヲ造リ上ゲタリ明治三十四年村内有志者相謀リ總社鹽産株式會社ヲ組織シ須臾前ニ二十五竈ノ鹽田ヲ墾キ同三十七年竣工又是ト前後シテ大番濱三竈成リ一村沿海全部鹽田ト化シ五十二竈貳千四百萬斤貳拾四萬圓ノ産額ヲ見ルニ至ル是ニ於テ明治三十八年大藏省ハ必要上鹽務取扱所ヲ西濱ニ設ケタリ後再三名稱ヲ改ム專賣局坂出支局林田鹽取扱所是ナリ

園



藤井義雄校長



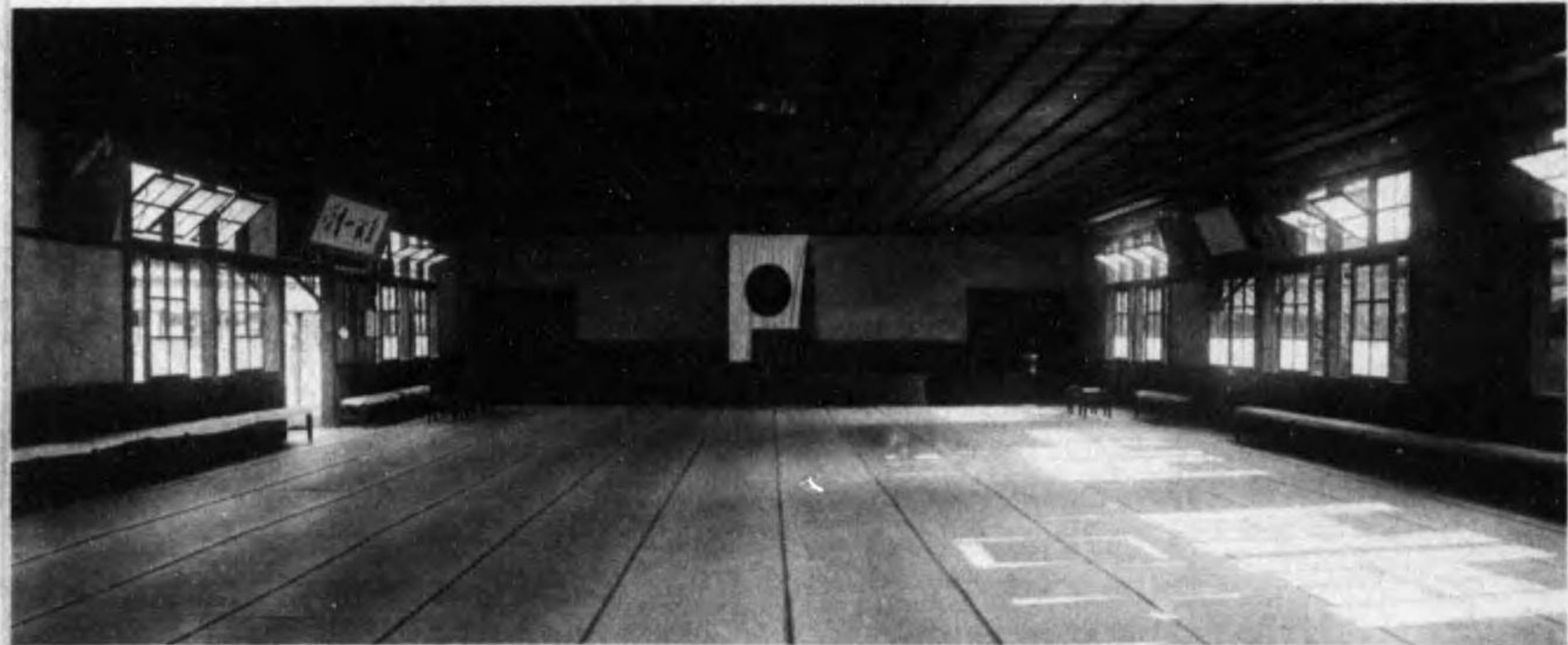
學



職員一同



校舎全景



講堂

林田小學校

明治二十四年十月一日
 林田尋常小學校として創立大正
 四年四月高等科併置今日に及ぶ
 現在職員數二十四名
 兒童數約 一千名

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 石崎 幸男 | 山本 秀一 | 小田 雪子 |
| 末澤 常吉 | 須崎 潤一 | 山中 文子 |
| 北村 忠行 | 三好 義信 | 前川 八千代 |
| 橋本 重能 | 築后 コエ | 稻木 チエノ |
| 都崎 憲一 | 北濱 シゲル | 校長 藤井 義雄 |
| 山本 董 | 北原 千鶴子 | 中浦 マサエ |
| 前田 修 | 猪熊 富枝 | 猪熊 ツタエ |
| 三谷 文子 | 猪熊 和子 | 濱崎 和子 |
| 三木 ハルノ | 新開 シマ | 田中 トミエ |
| 倉掛 美智代 | | |



☆ 操体オヂラ ☆

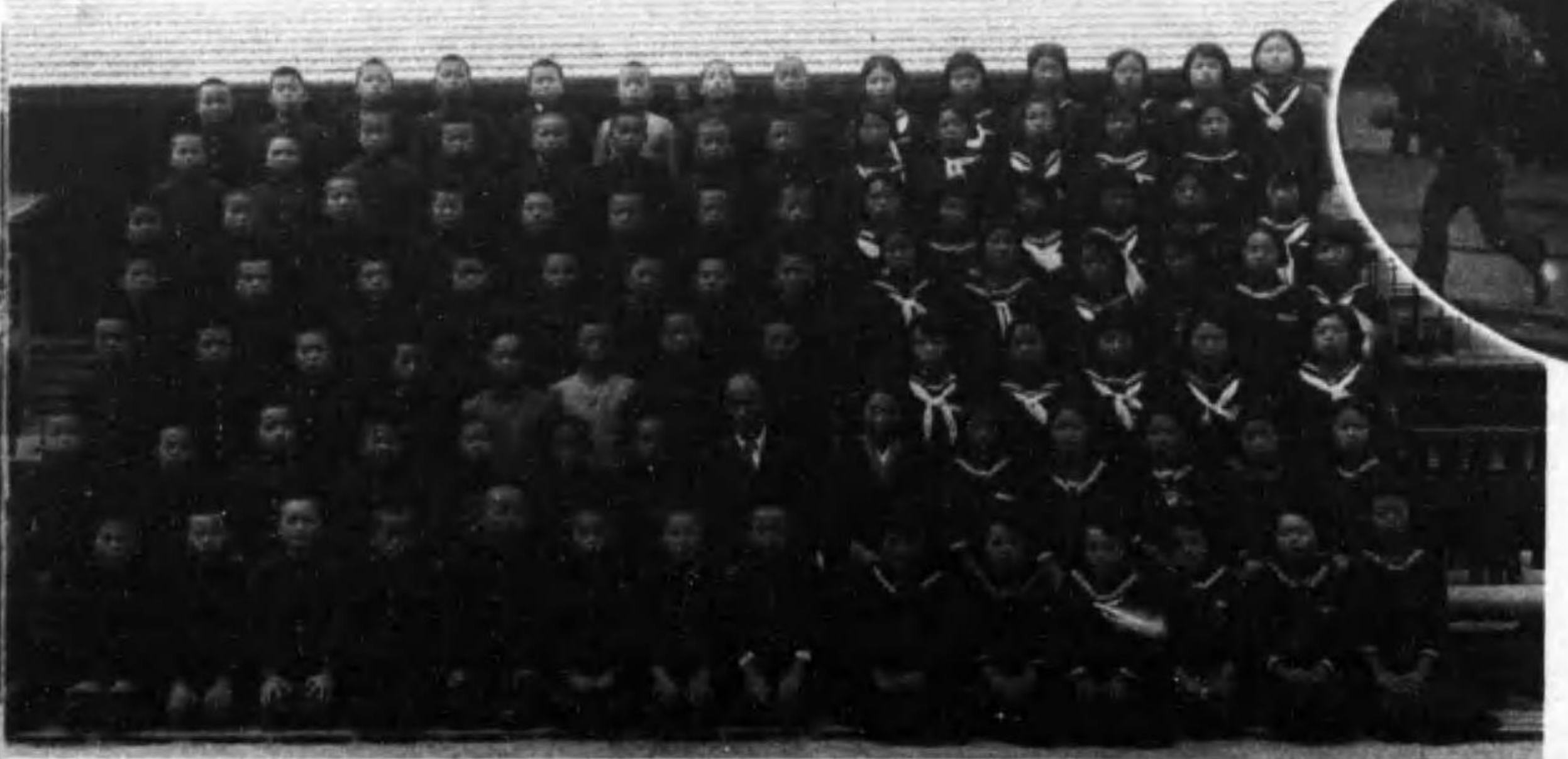
小
学

～ 生年二科等高 ～

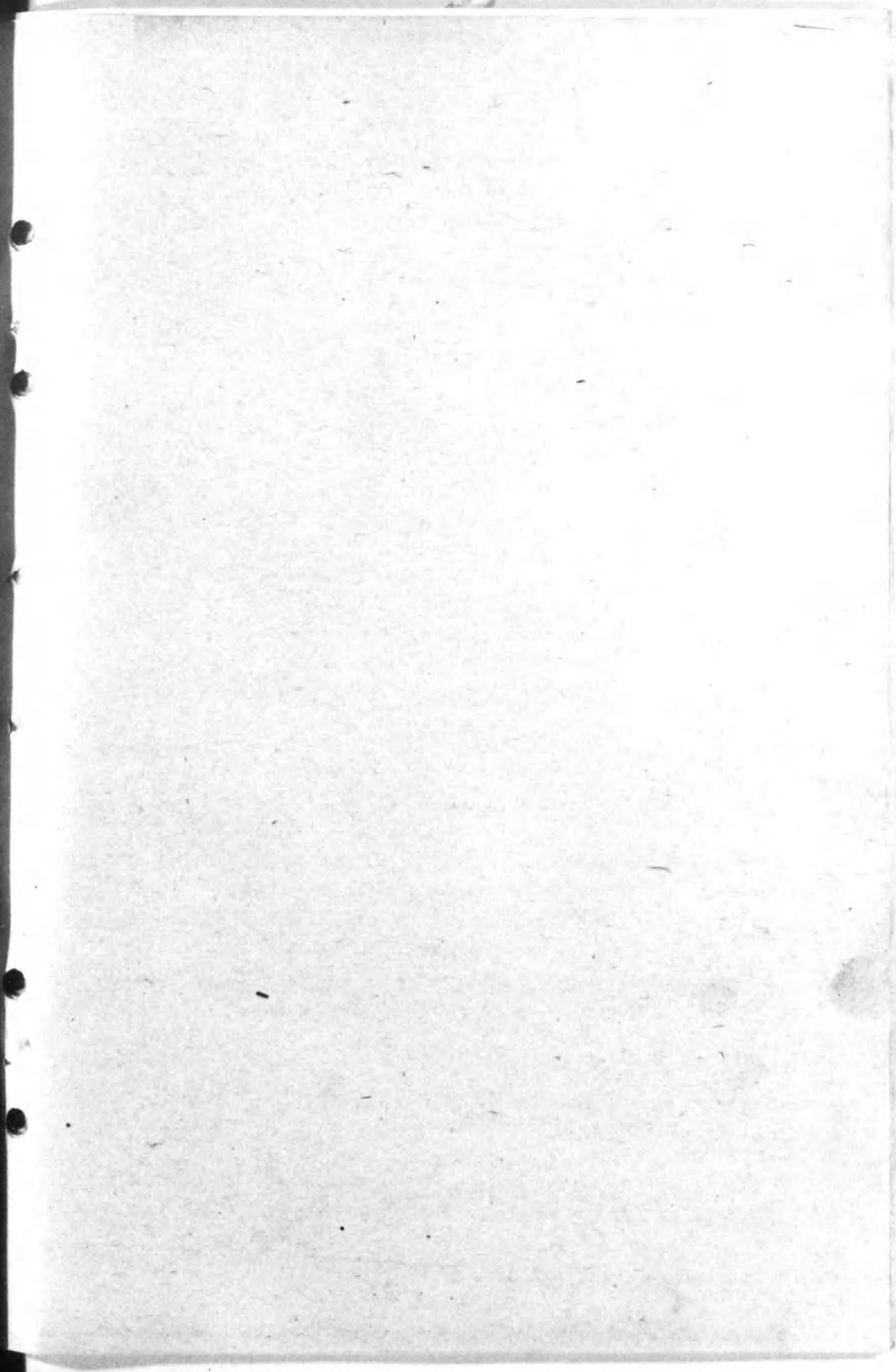
☆ 生年一科等高 ☆



～ トステ力体 ～

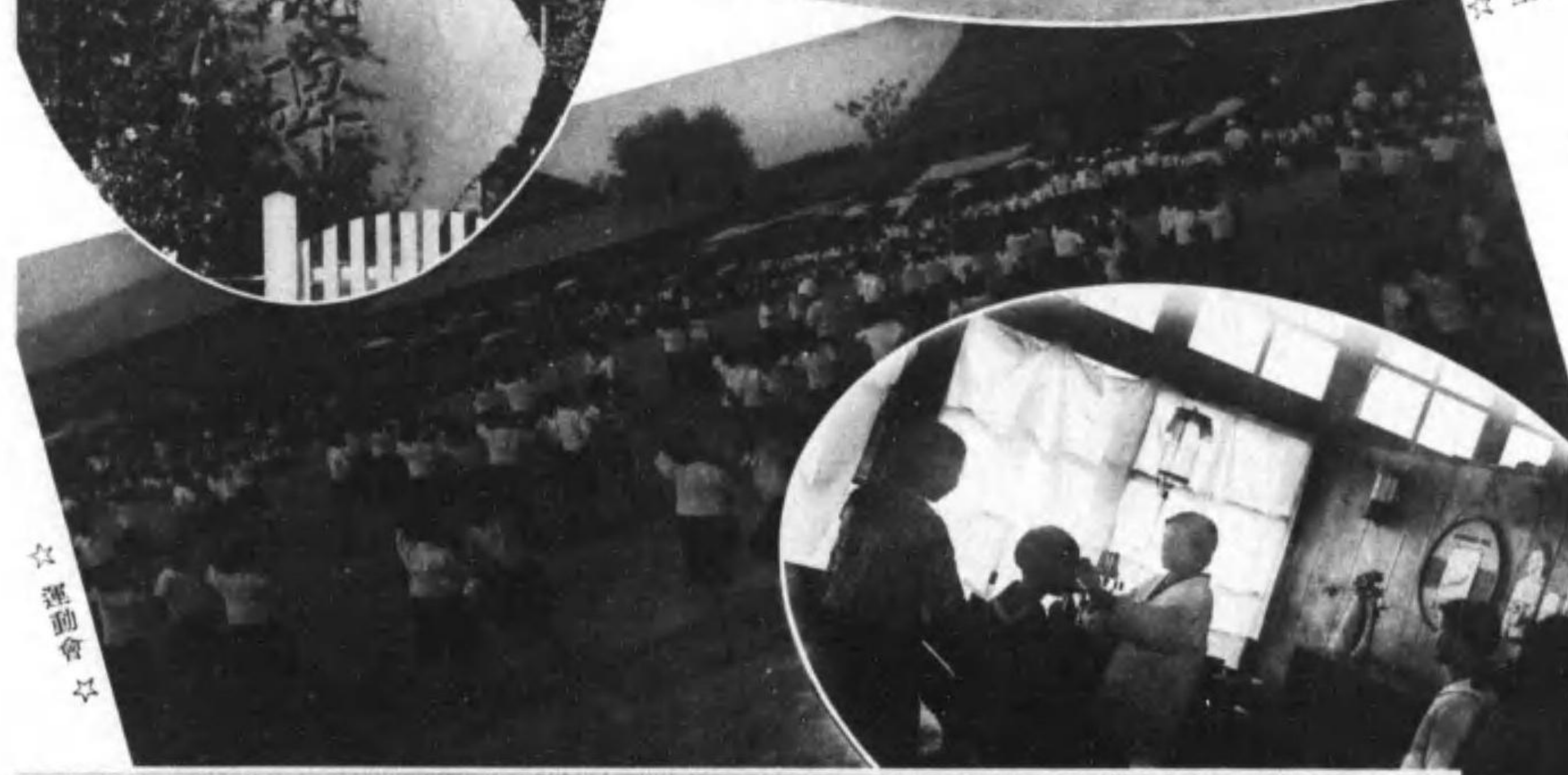


～ 生年六常番 ～





☆ 生年五常 ☆



☆ 運動會 ☆



～ 室課醫 ～



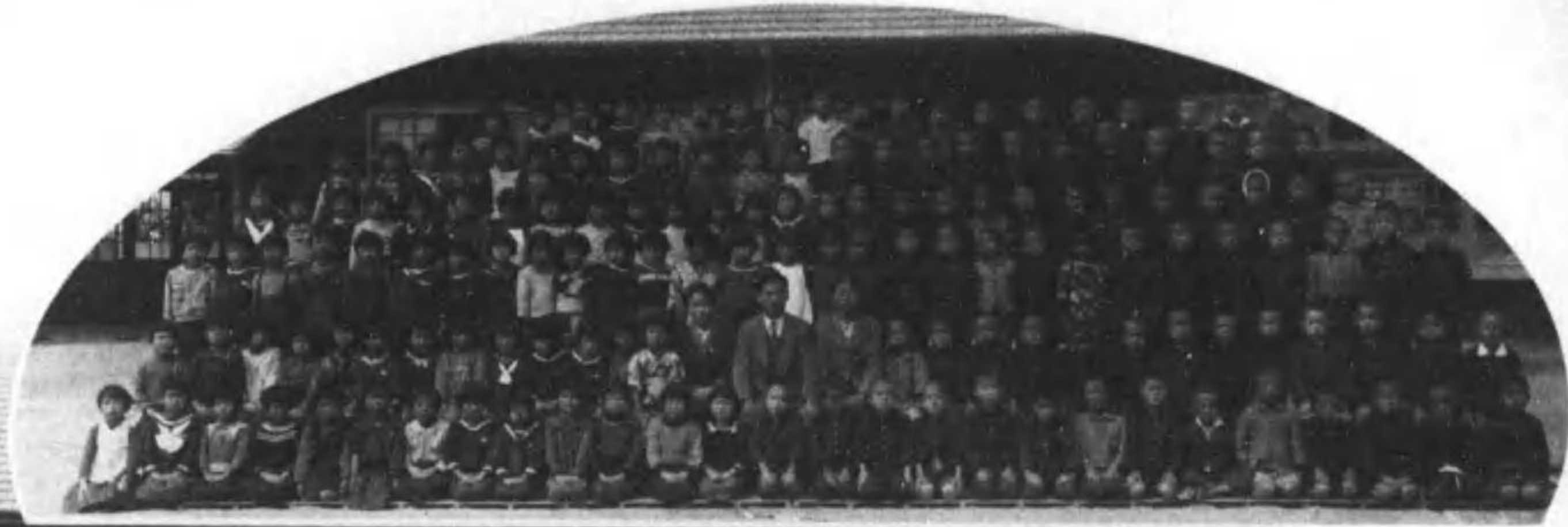
☆ 尋常四年生 ☆



☆ 尋常三年生 ☆

學

小



☆ 生年二常尋 ☆



☆ 生年二常尋 ☆

小
學



☆ 室員職 ☆



☆ 園兒育田林 ☆

幼
稚



☆ 時一ノ園兒育 ☆



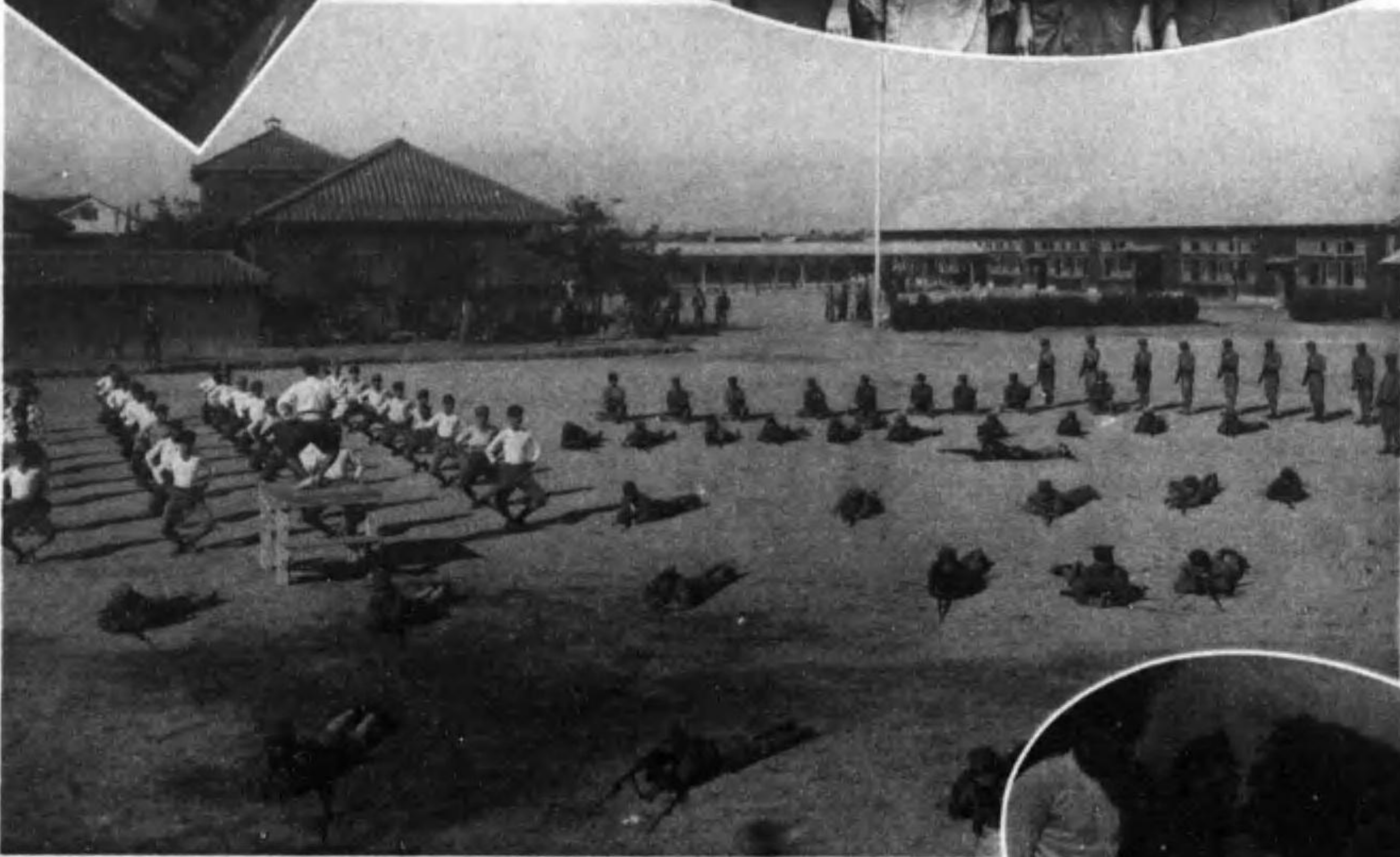
☆ 部子男校學年青 ☆



☆ トステカ力 ☆



☆ 部子女 ☆



立てよ若人
護れよ御國



☆ トステカ力 ☆



☆ 賞習 ☆

林田青年學校

昭和十四年四月青年教育の重要性を認められ
男子部は義務制となる

現在専任教員

男一名

女一名

指導員

七名

兼任教員

十四名

現在生徒數

男子部

約百三十名

女子部

約五十名

保証責任林田信用購買販賣利用組合沿革

設立ノ趣旨

農村ノ金融改善並ニ産業及經濟ノ發達助長ヲ企圖スル機關トシテ大正十一年一月猪熊善次郎氏外二十五名創立委員トナリ本産業組合ヲ設立ス

- 一、設立認可 大正十一年四月五日
- 一、當初名稱 有限責任林田信用購買販賣利用組合
- 一、事業開始 本店 大正十一年五月六日
- 一、全 出張所 大正十一年七月二十六日
- 一、設立初年ノ事業ノ種類及其概況

組合員數 五二五名 出資口數 一、六二八口

出資總額 金參萬貳千五百六拾圓

購買部、販賣部、信用部、利用部ノ四種兼營

- 一、機關 理事五名、監事五名、總代六〇名、信用評定委員十名
- 一、農業倉庫事業開始 大正十五年五月三日
- 一、組織變更 昭和十一年五月二十八日

保証責任林田信用購買販賣利用組合ト改正ス

- 一、事務改築 昭和八年五月一日 本店事務所
- 一、昭和十五年十二月末現在事業概況 (設立第十九年度)

出資口數 二、〇〇〇口 出資總額 四万圓

組合員總數 九三二名 執務者 一名

貯金總額 金壹百壹万八百貳拾六圓

貸金總額 金拾九万貳千參拾九圓

諸積立金 金參万八千九百七拾五圓

取買總額 金參拾九万四百參圓

購買總額 金拾貳万六千五拾圓

倉庫入庫高米參萬貳千七百貳拾五俵

全 昭和十五年年度取扱高

全 倉庫入庫高米參萬貳千七百貳拾五俵

猪熊 保 吉田嘉藤太

川井和太次 中川精逸

稻木憲男 福家善助

猪熊清之進 松浦和喜之進

荒井昇平 明石 明

宮崎ヤスノ 熊本甚六

西尾カズエ 野田 登

保証責任林田信用購買販賣利用組合

役員

産業組合本店



☆ 組合長 松浦和喜之進 ☆



☆ 所務事店本合組 ☆



☆ 員職役 ☆



☆ 執務室 ☆



産業組合支店

☆ 支店 購買部 ☆



☆ 支店 全量及倉庫 ☆



☆ 本店 倉庫倉出し ☆



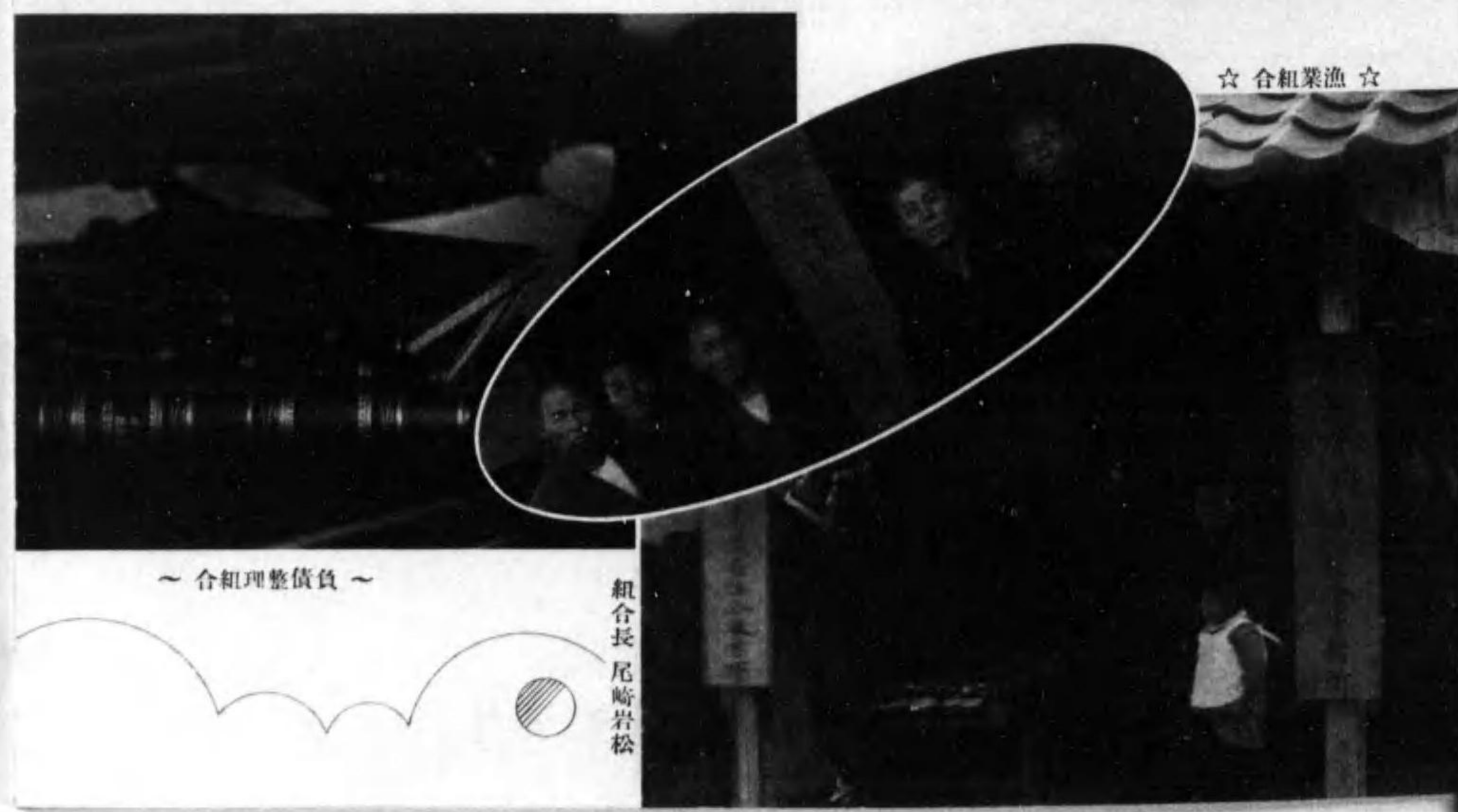


~ 員職役合組險保康健民國 ~
進之喜和浦松 長合組

☆ 龜井醫院 ☆



香川齒科醫院



~ 合組理整債負 ~

組合長 尾崎岩松

☆ 合組業漁 ☆

國民健康保險組合

設立認可 昭和十五年十月三十一日
 事業開始 昭和十五年十二月二十五日
 組合員 八百九十七人
 被保險者 四千五百二十人
 理事 五名
 會議員 十八名
 理事長 松浦和喜之進



☆ 創立昭和十
二年十月 ☆
☆ 會員數約
千 ☆

☆ 總後任公會
會長松浦和喜之進 ☆



☆ 分會 本政儀 ☆



☆ 會人軍郷在 ☆

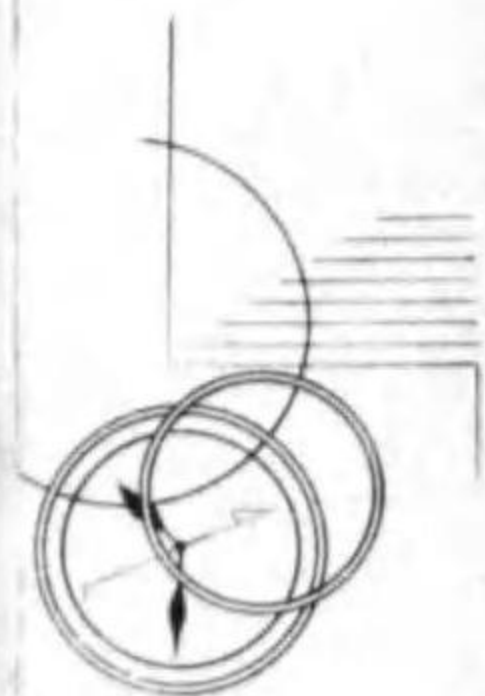


↑ 團長 松浦和喜之進 ↓

~ 團防警 ~

~ 部 二 ~

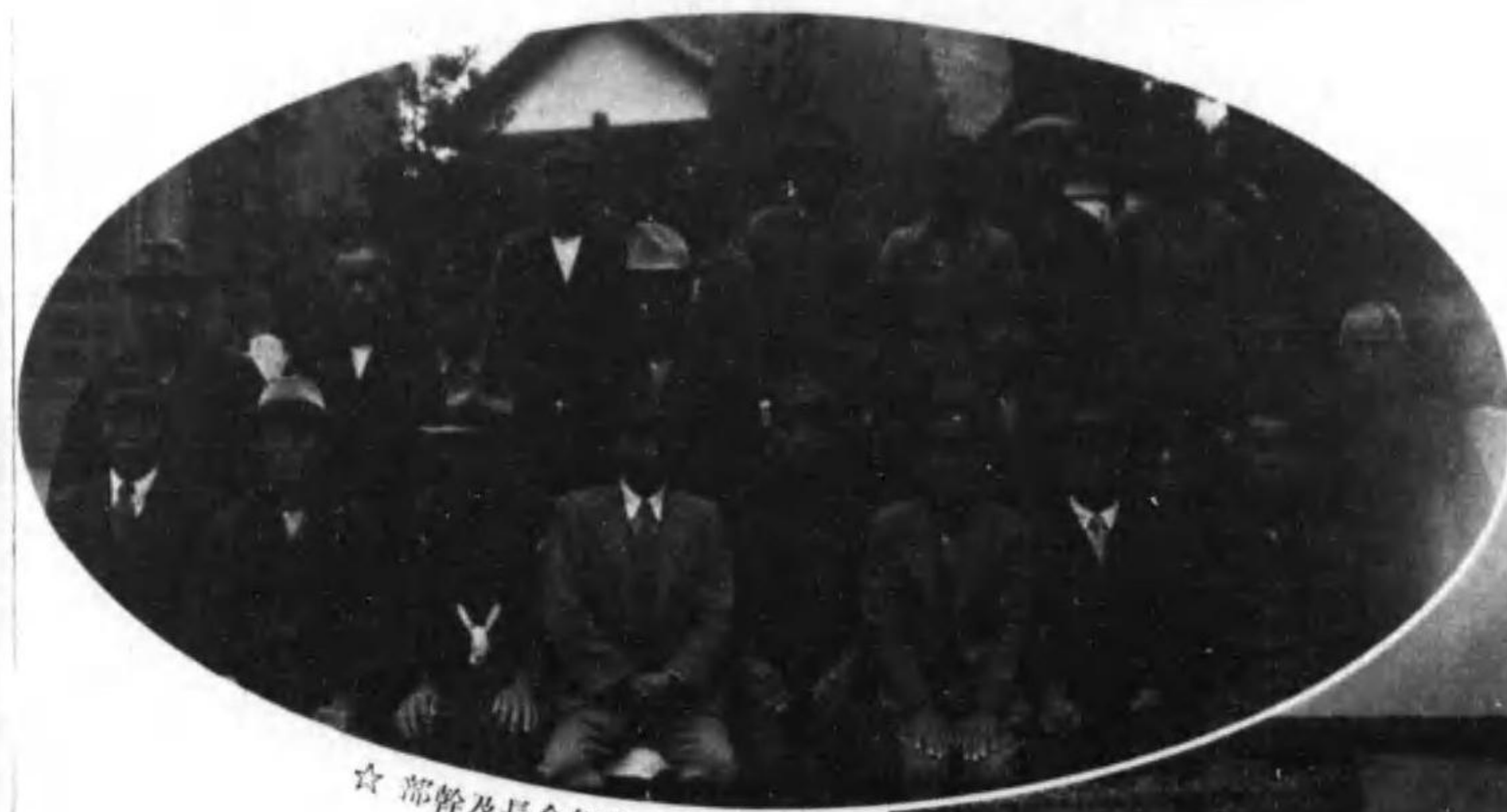
☆ 部 一 ☆





☆ 團長 林徹助 ☆

☆ 團 年 青 ☆



☆ 部 幹 及 長 合 組 空 防 庭 家 ☆



～ 動 活 / 合 組 空 防 ～



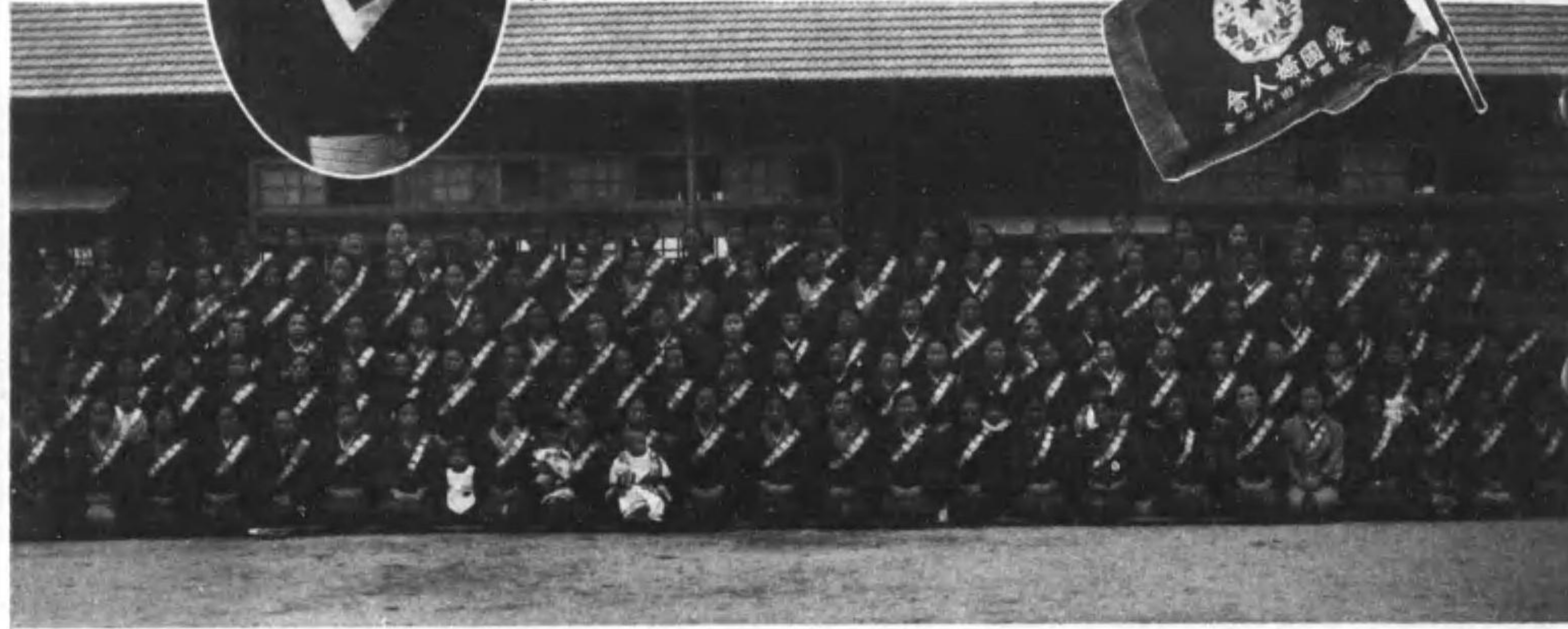
☆ 員 會 道 皇 及 友 海 ☆



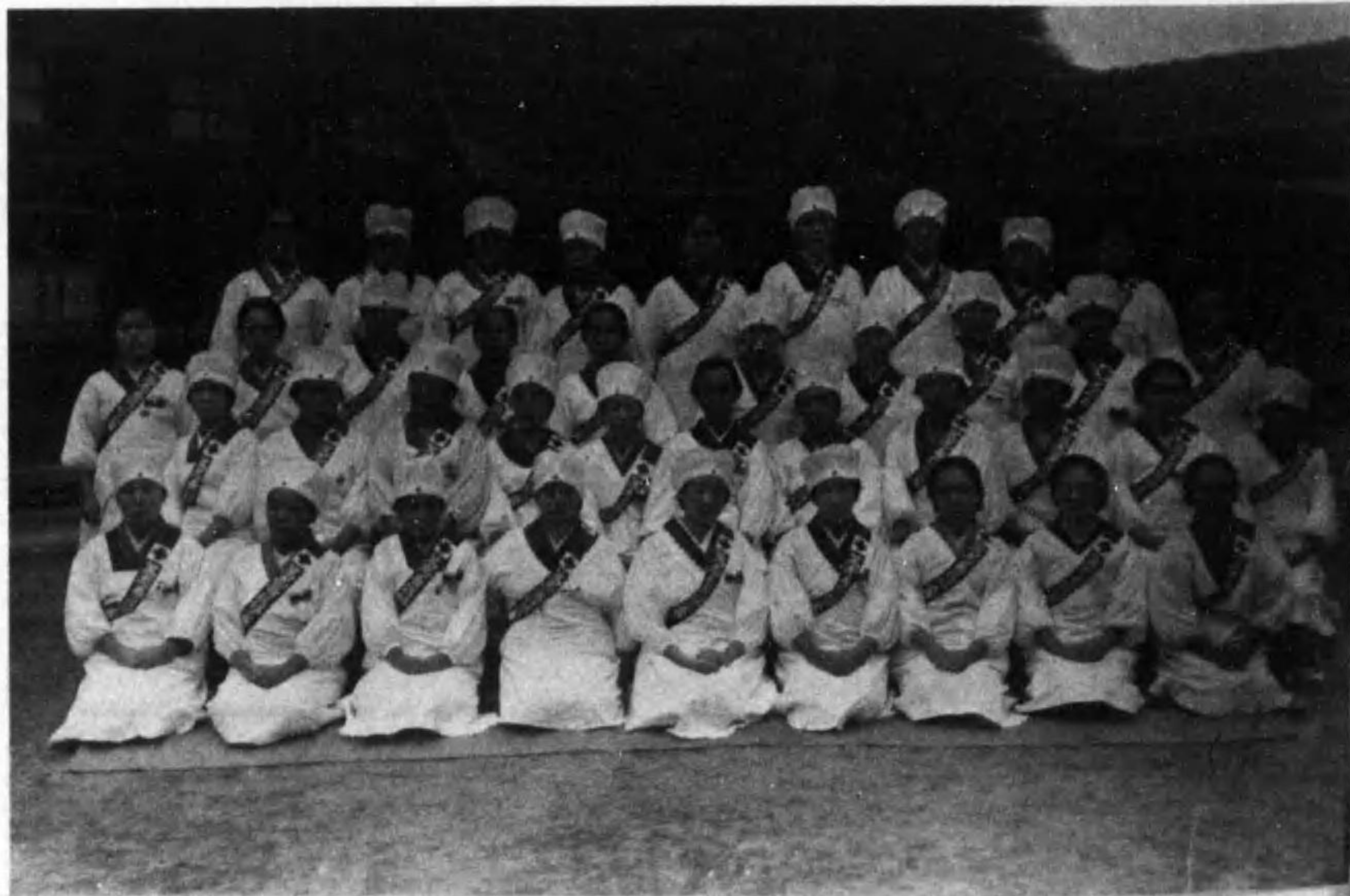
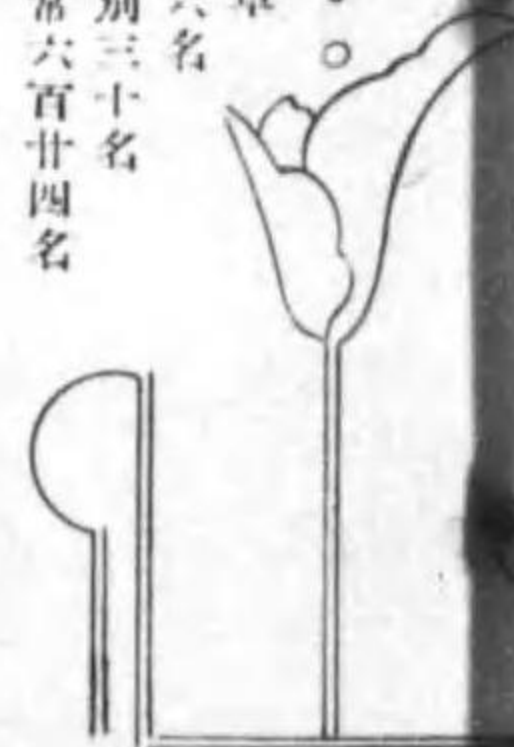
☆分會長松浦トキ子☆

會人婦国愛村田林

名四廿百六員會月八年四卅治明立創



有功章
十六名
特別三十名
通常六百廿四名



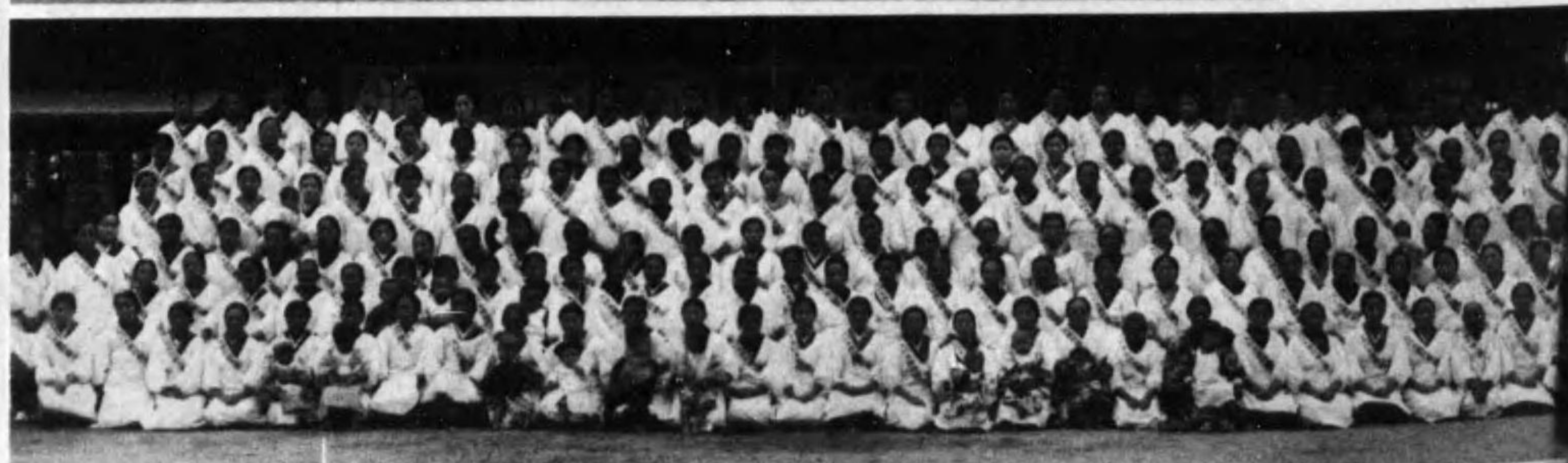
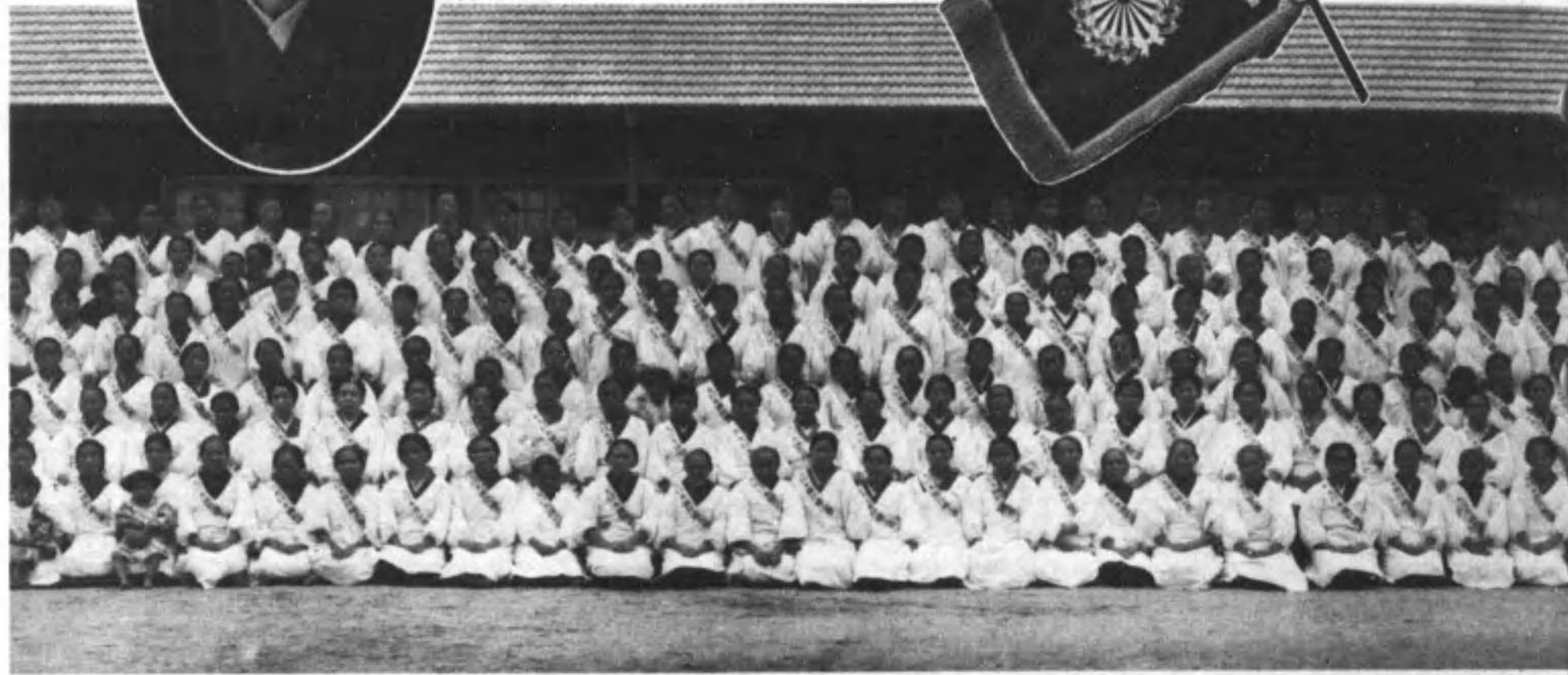
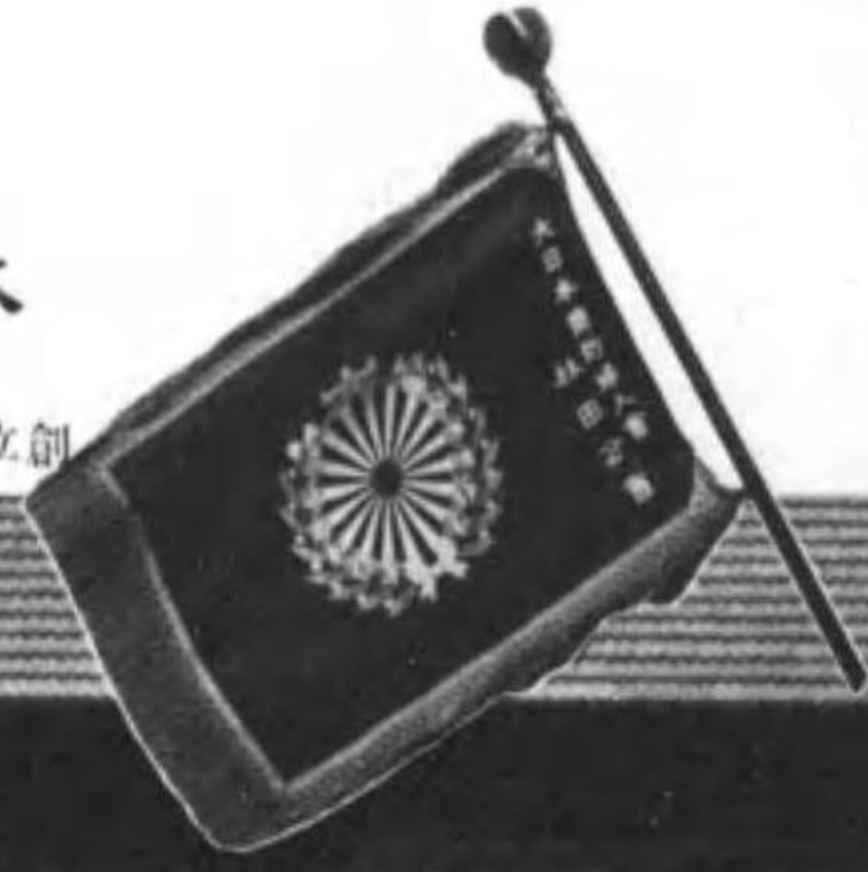
篤志看護婦人會員

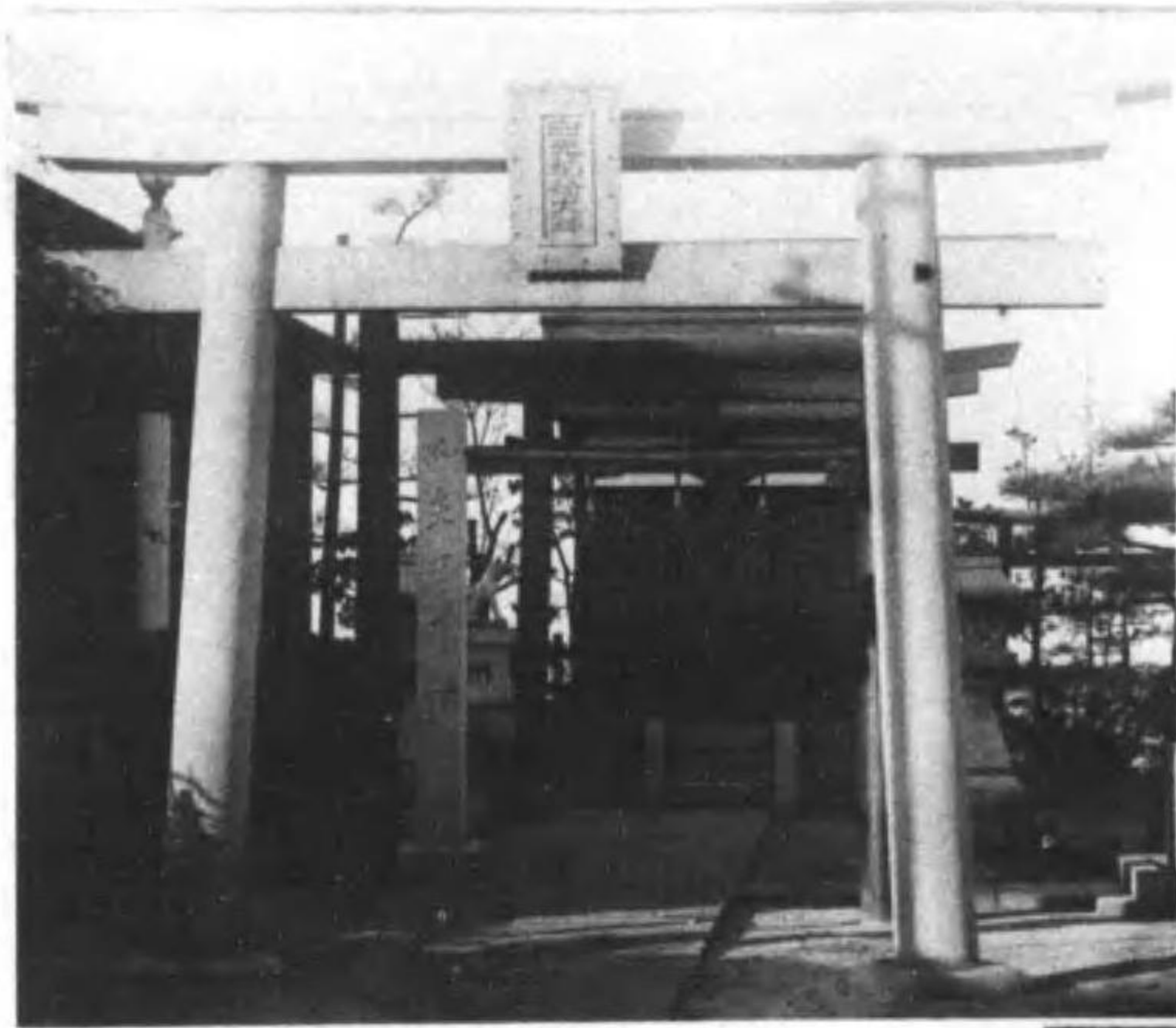


☆會長 亀井勝枝 ☆

林田国防婦人會

創立昭和二十年五月十五日會員八百六十一名

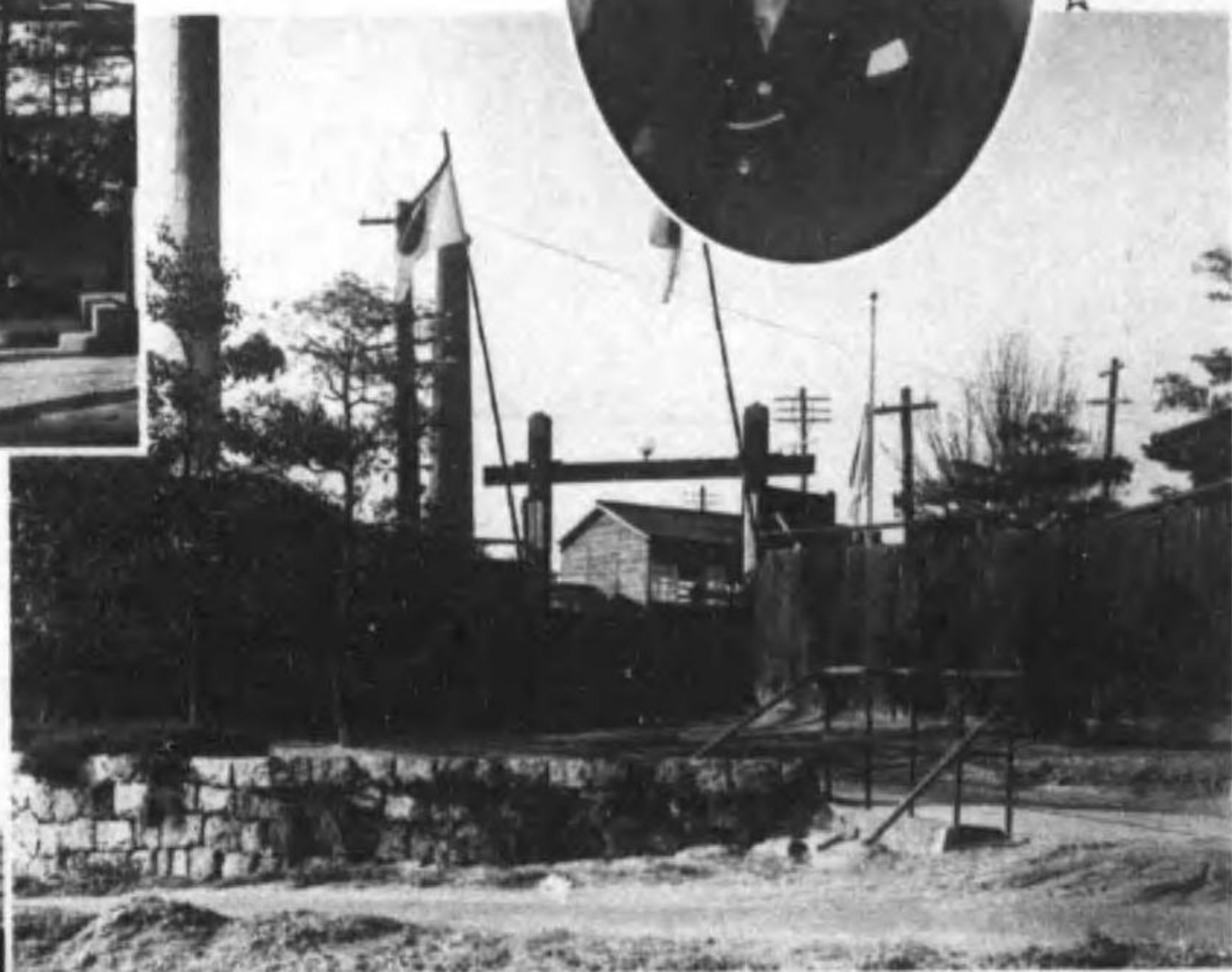




〜 神大荷船光白護鎮場工



☆社長 藤澤友吉 ☆



藤澤林田工場



職員



事務所

一、名稱 株式會社藤澤友吉商店林田工場
 二、事業種目 苦汁化學工業
 三、沿革

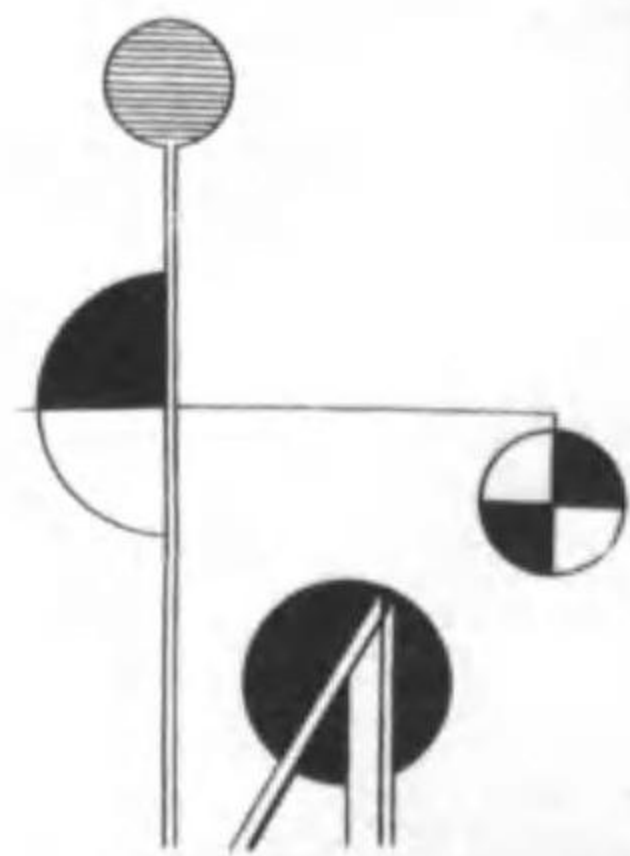
- 一、大正四年五月大阪乾卵商店創立、海面ヲ埋立テ敷地ヲ形成シ本田郡麻治村ヨリ移轉、乾製藥所ト名附ク
- 一、大正五年五月組織ヲ改メ、日本藥品工業株式會社トナル
- 一、大正六年八月一日大阪アルカリ株式會社ト合併シ今社坂出工場ト稱ス
- 一、大正十年十二月一日大阪藤澤友吉氏ト阿波富田久三郎氏ニ於テ買收共同經營ノ下ニ富田製藥坂出工場ト名附ケ本田郡麻治村ニ分工場ヲ置ク
- 一、昭和二年七月一日株式會社藤澤友吉商店ト組織變更ス
- 一、昭和五年七月ニ至リ藤澤友吉氏個人經營トナル
- 一、昭和六年十一月一日株式會社藤澤友吉商店ニ併合セラレ株式會社藤澤友吉商店林田工場ト改稱シ現在ニ至ル

四、従業員 二〇〇名内外 以上

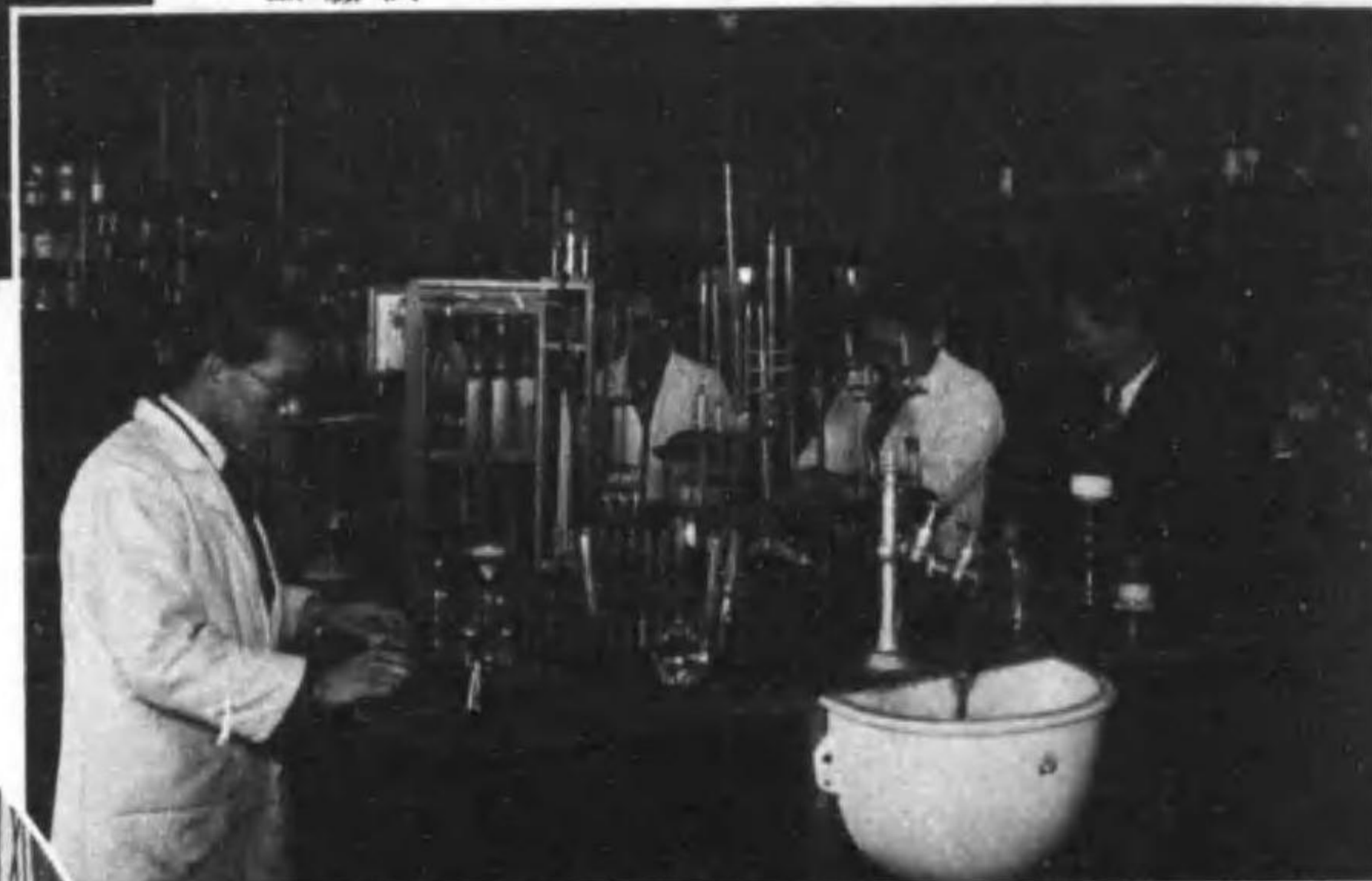
| | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 大西 忠 | 安原 貞義 | 中川 作太郎 | 福井 實 | 富家 勝美 |
| 眞鍋 森助 | 樋口 月視 | 稻木 忠 | 樋口 武一 | 田中 英幸 |
| 鎌谷 孝徳 | 服部 誠治 | 丸石 重一郎 | 北脇 恒三 | |



☆ 郎一重石丸 長場工 ☆



～ 宝 驗 試 ～



☆ 荷 役 ☆



～ 部 一 ノ 業 作 ～



藤澤青年學校



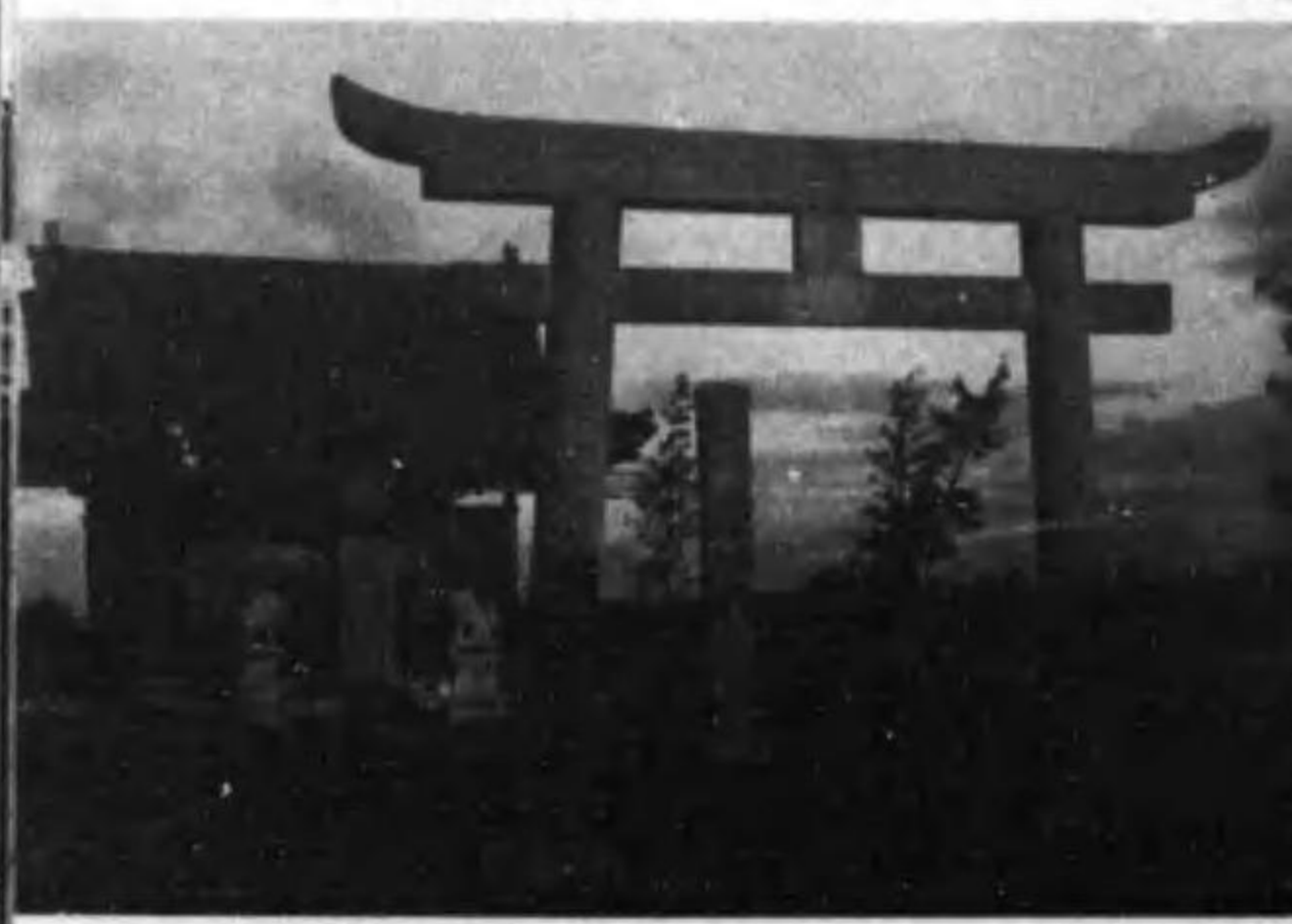
☆ 社長 廣瀬小三郎 ☆



☆ 事務所 ☆



☆ 社神釜池及景全田 ☆



☆ 社神釜池 ☆



☆ 社長 廣瀬小三郎 ☆



☆ 景 全 ☆



☆ 事務所及役員 ☆

總社鹽産株式会社

濱崎産業株式会社

濱崎産業株式会社
 一、設立年月日 明治四十四年五月三日
 一、本店 綾歌郡松山村大字青海二五九番地
 一、資本總額 一金九萬圓也
 一、一ヶ年生産高
 養魚 一三〇〇、〇〇〇斤
 大香漬 九二六、四二〇斤
 合計 二二二六、四二〇斤
 養魚 五町六反五畝十九步
 大香漬 役場ニテ御調査ナシ
 前五ヶ年平均産額

總社鹽産株式会社
 創立 明治三十五年一月
 資本金 十八萬圓
 地積 三十七町七反
 生産高 五百五十一万六千五百十五軒
 金額 三十三万五千三百三十五錢



☆ 阿河神社 ☆

阿河鹽産株式會社



社長 阿河壽一

☆ 全景 ☆



☆ 事務所 ☆



☆ 林田幹伸 組事務所 ☆

⊕ 組内武送店事務所

組長 武内太郎

組長 角木 稔



阿河鹽産株式會社

| | |
|-------|-------------|
| 創 立 | 大正八年四月 |
| 年 產 高 | 三、〇五一、九三〇キロ |
| 賠 償 金 | 一七二、四七五、一六 |
| 面 積 | 十五町七反五畝 |
| | 昭和十四年度 |

～ 部内所務事 ～

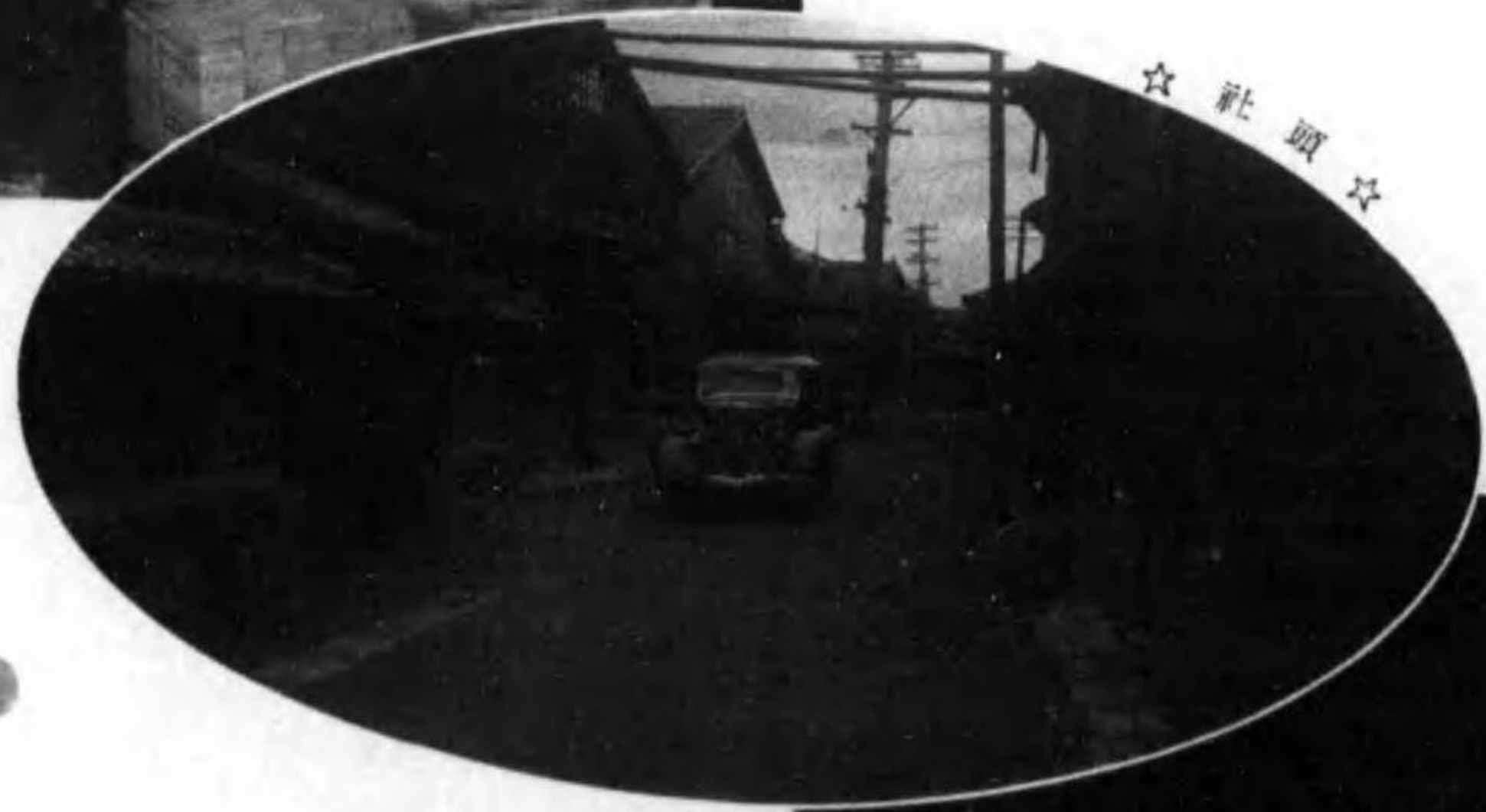


☆ 社長 濱崎彌右衛門 ☆

☆ 部一ノ場工 ☆



濱崎製材株式會社



☆ 社 頭 ☆

☆ 製材部 ☆



濱崎木材株式會社沿革

明治四十三年 創 業
 大正 元年 製材業開始
 昭和 十年 株式組織ニ變更
 昭和十三年 資本金拾五萬圓 (全額拂込)
 昭和十五年 代表取締役 濱崎彌右衛門
 現下出張所 台灣向木材移出業開始
 全從業員 賣上總金額八拾萬圓
 三ヶ所 宇和島市辨天町、大分縣佐伯町及大分縣立石町
 參拾余名

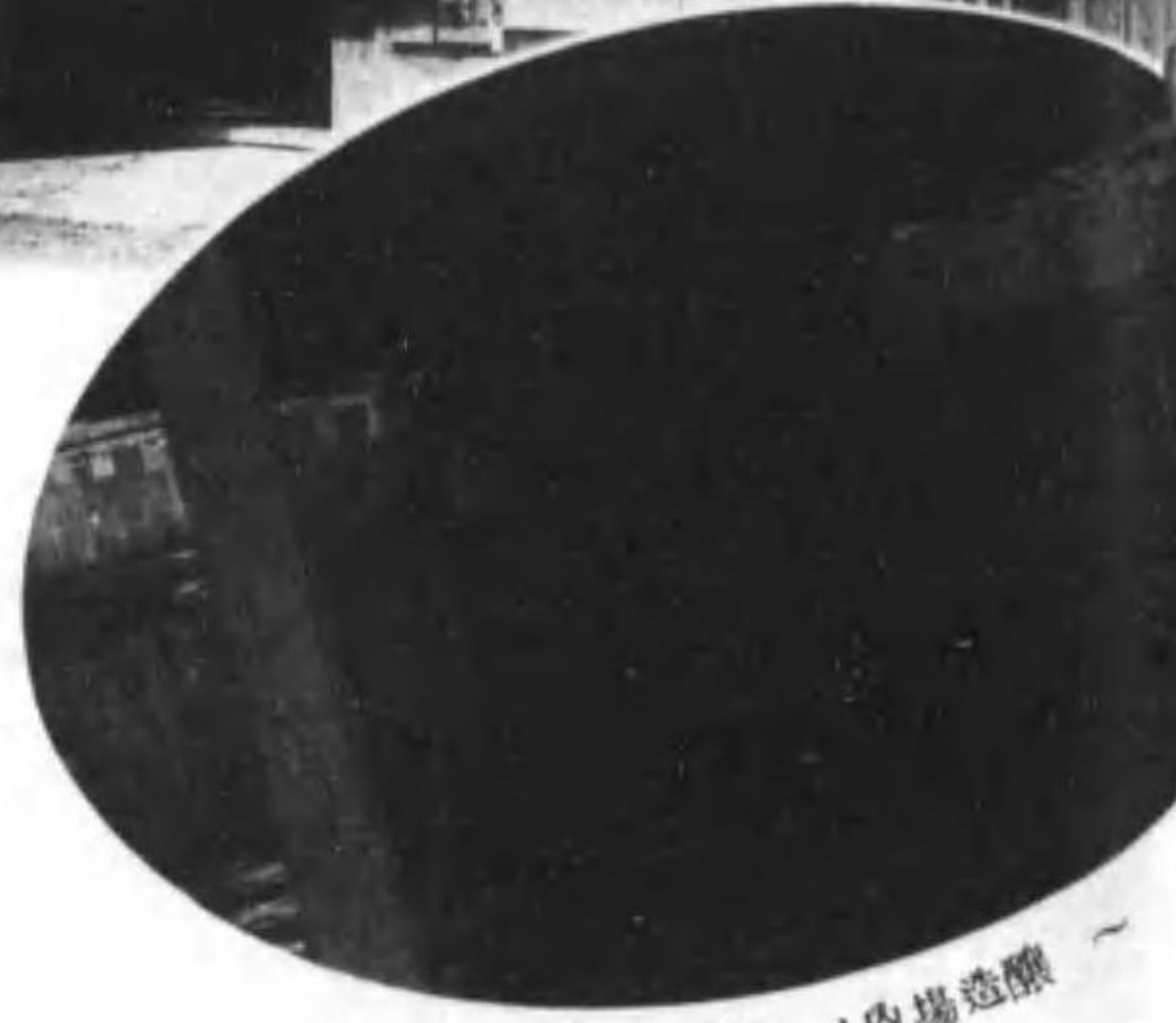


☆社長 國東照太 ☆

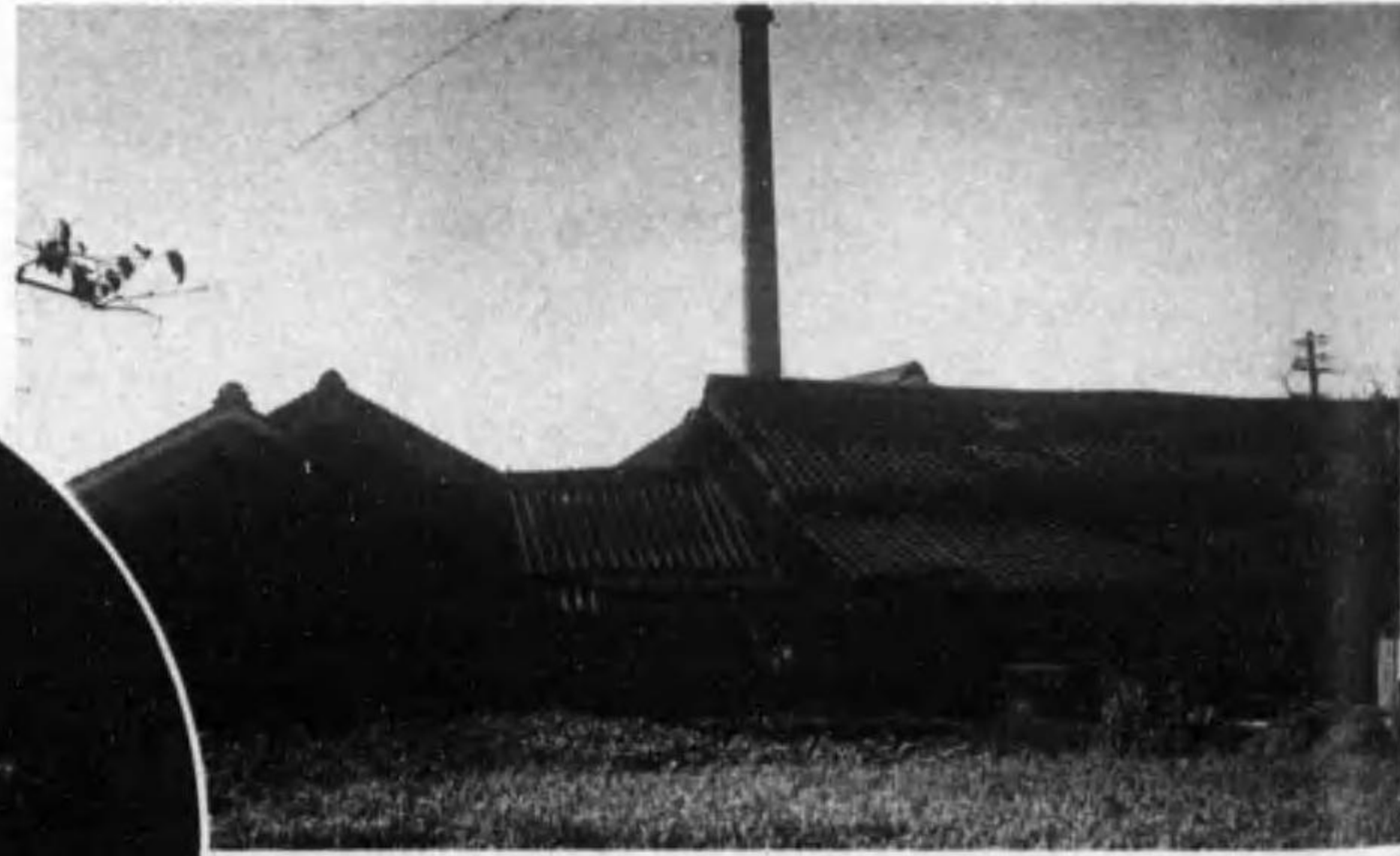
林田酒造株式會社



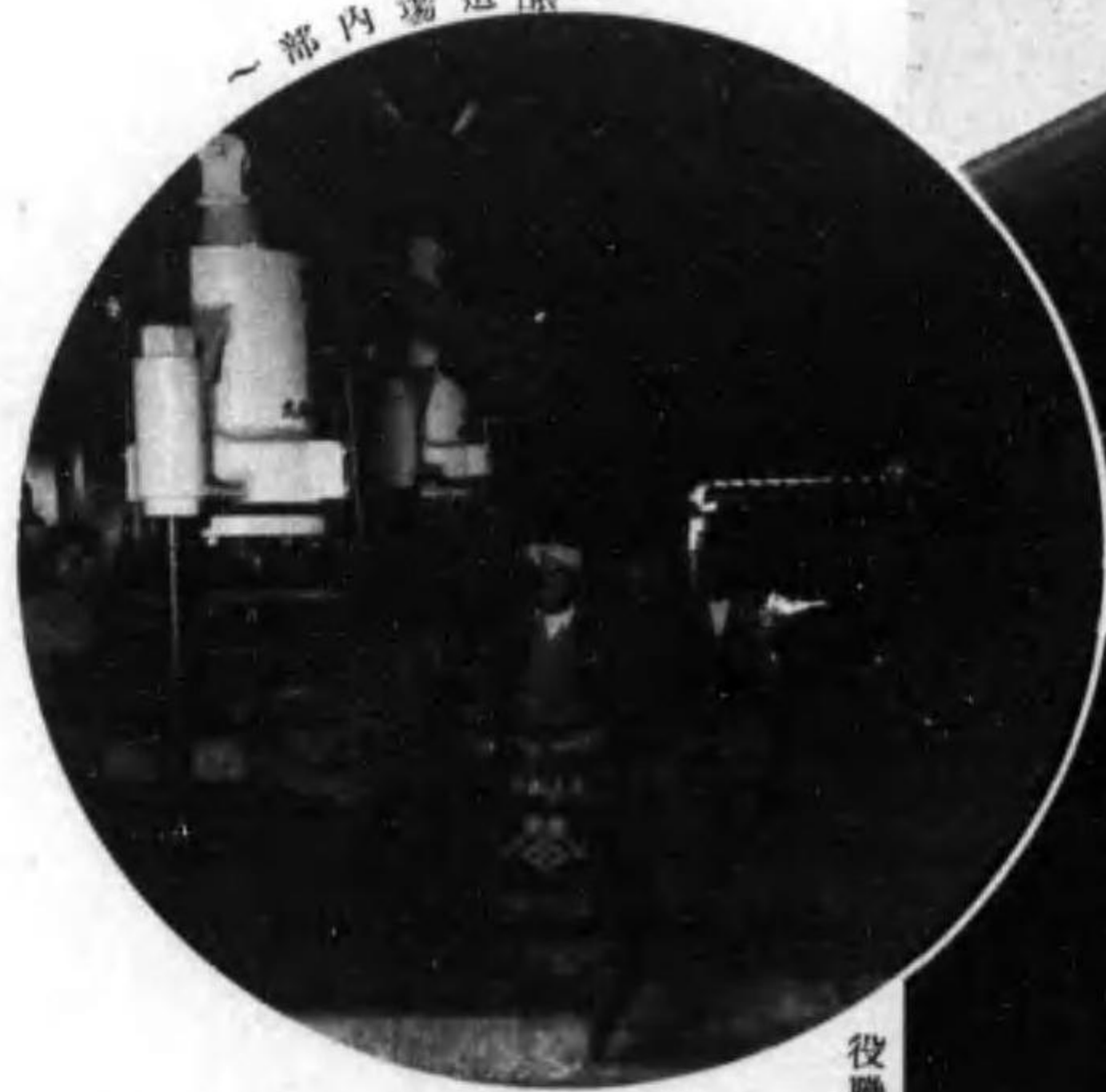
～事務所～



～部一ノ内場造醸～



～部内場造醸～



林田醬油株式會社

☆ 郎七合河 長社 ☆

役員員及従業員

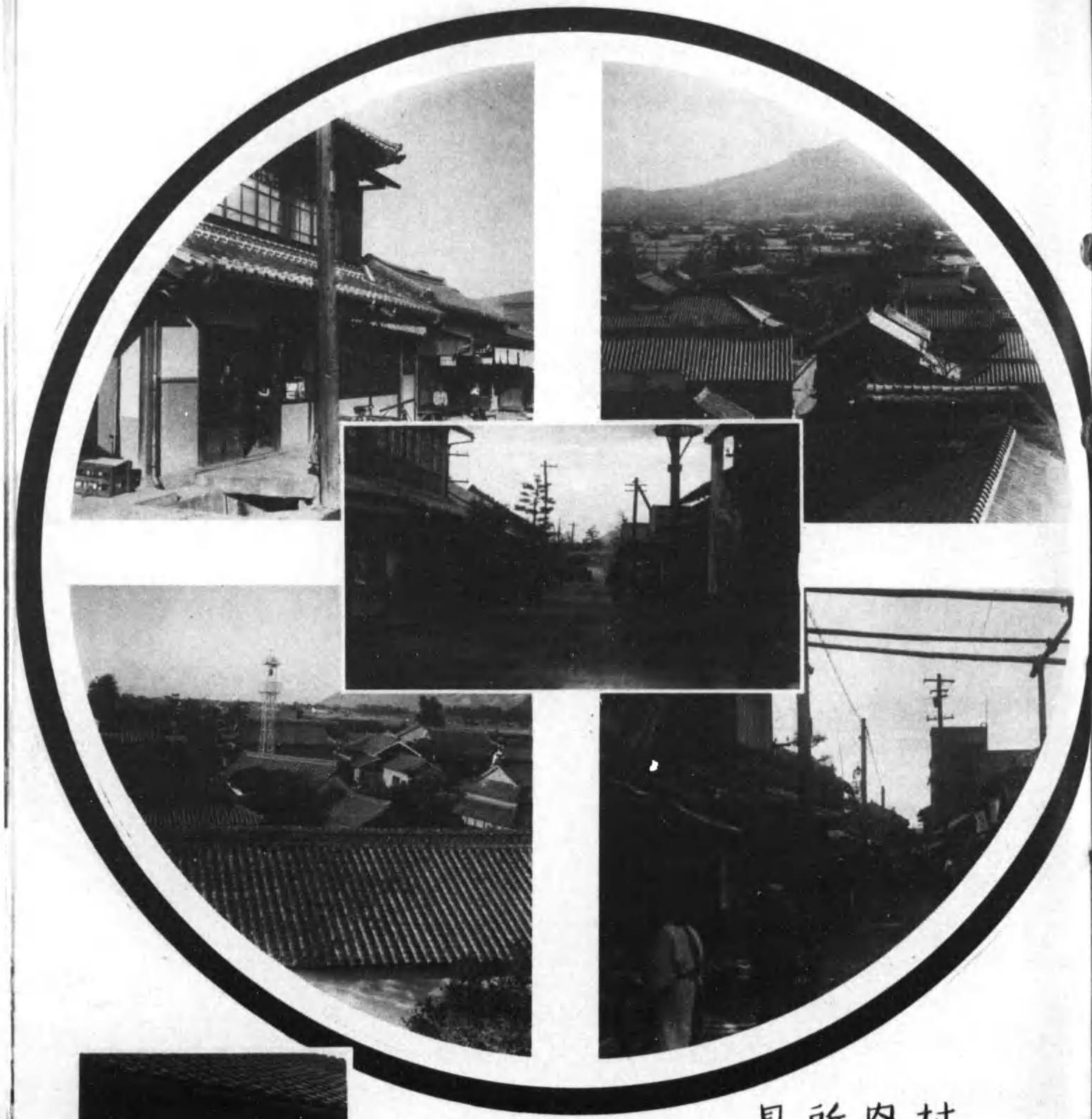


林田酒造株式會社

本社は元山下源四郎氏個人經營たりしが明治三十四年株式會社に變更す
昭和十五年現社長國東照太氏就任す
資本金 金拾壹萬圓
造石高 千貳百五十石
東京及阪神方面に販路を有す
大正十四年四國四縣酒造組合聯合會清酒品評會に於て最優等賞の月桂冠
を獲得す

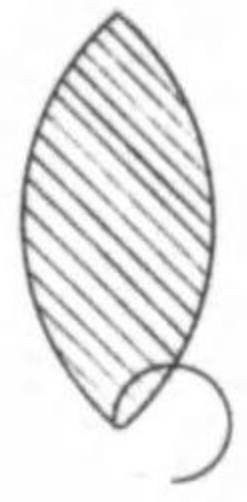
林田醬油株式會社

創 立 大正九年三月
資 本 金 金拾萬圓
釀造石數 一、〇〇〇石



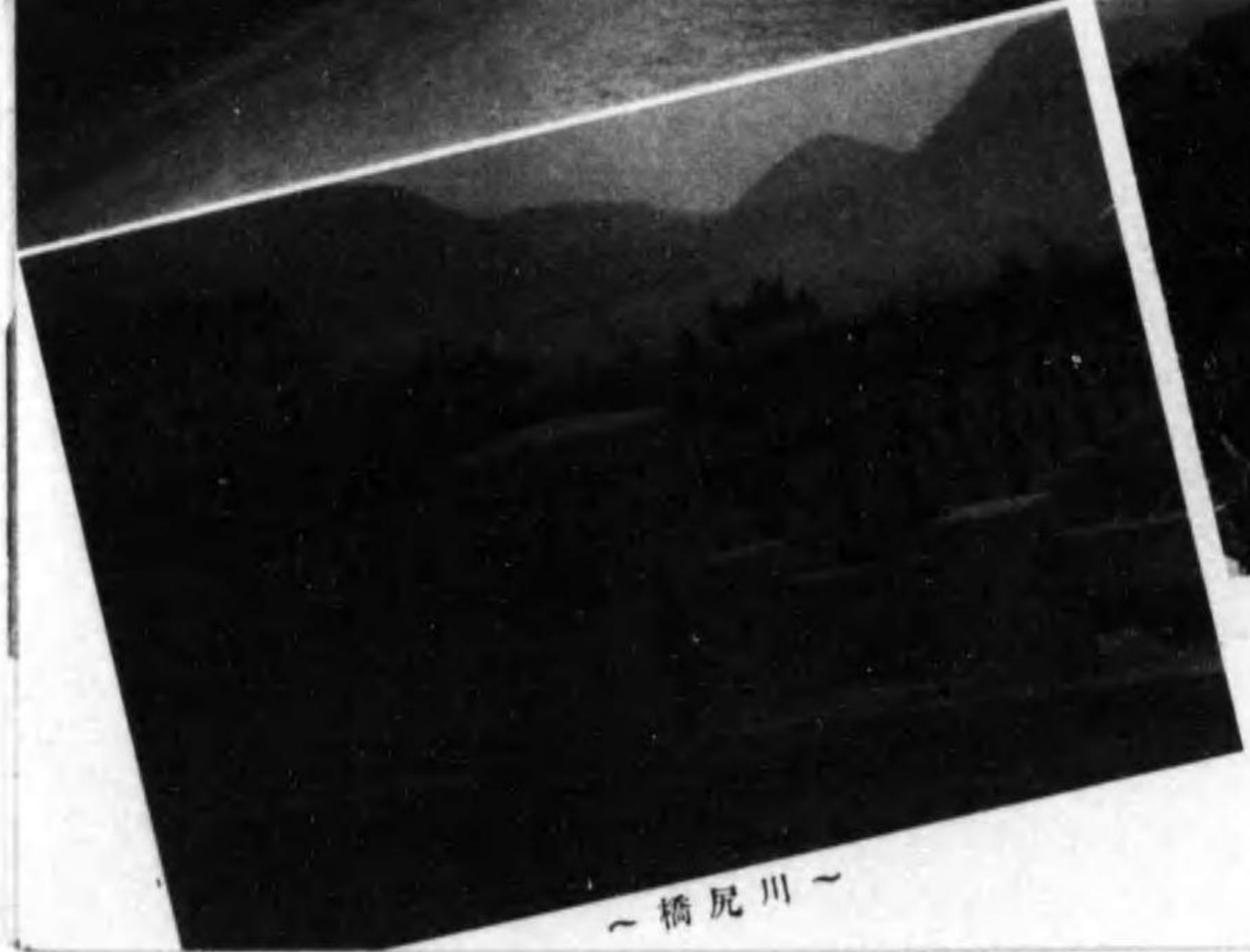
見所内村



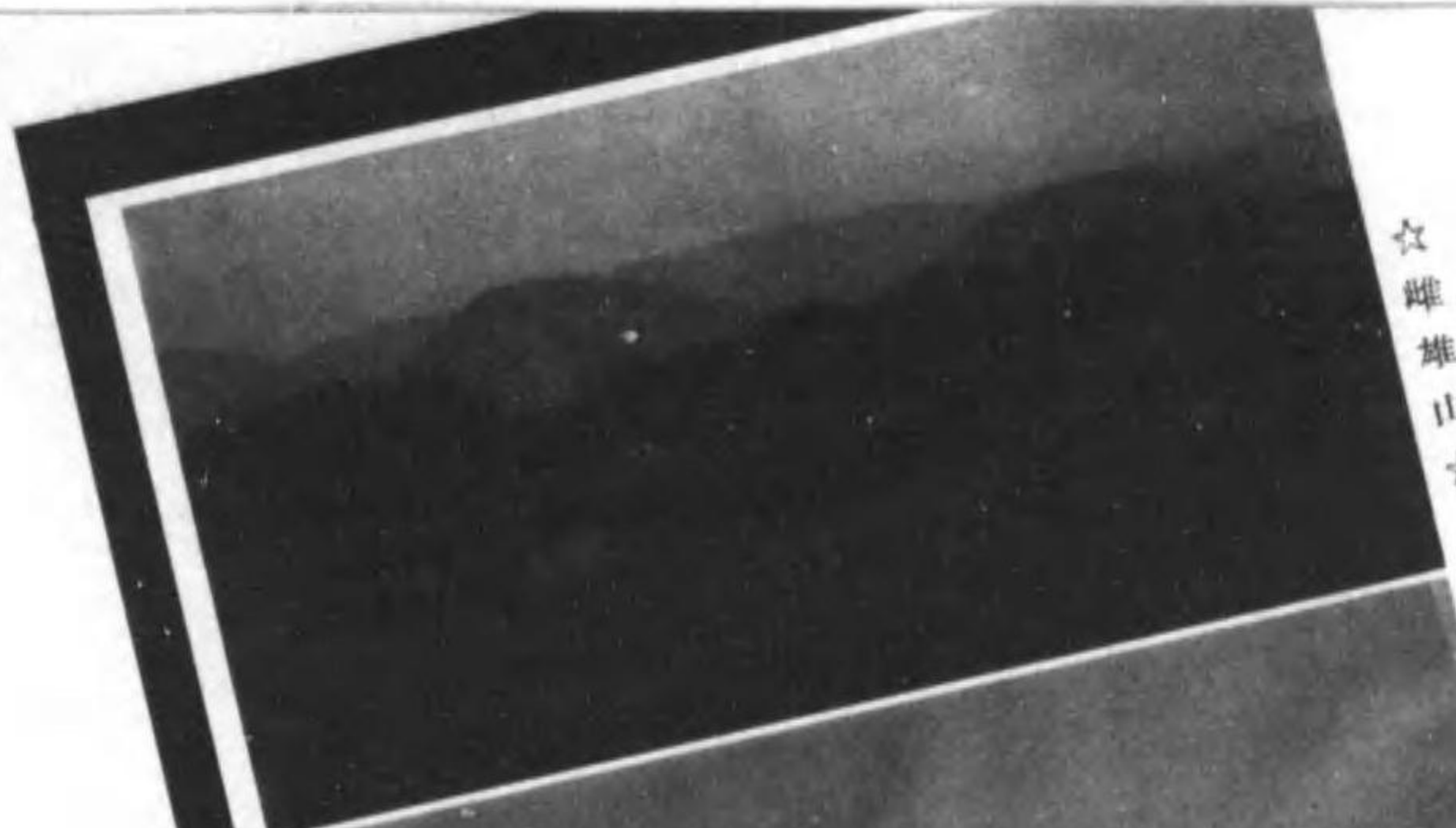


风光を慕ひて

～橋井雲～



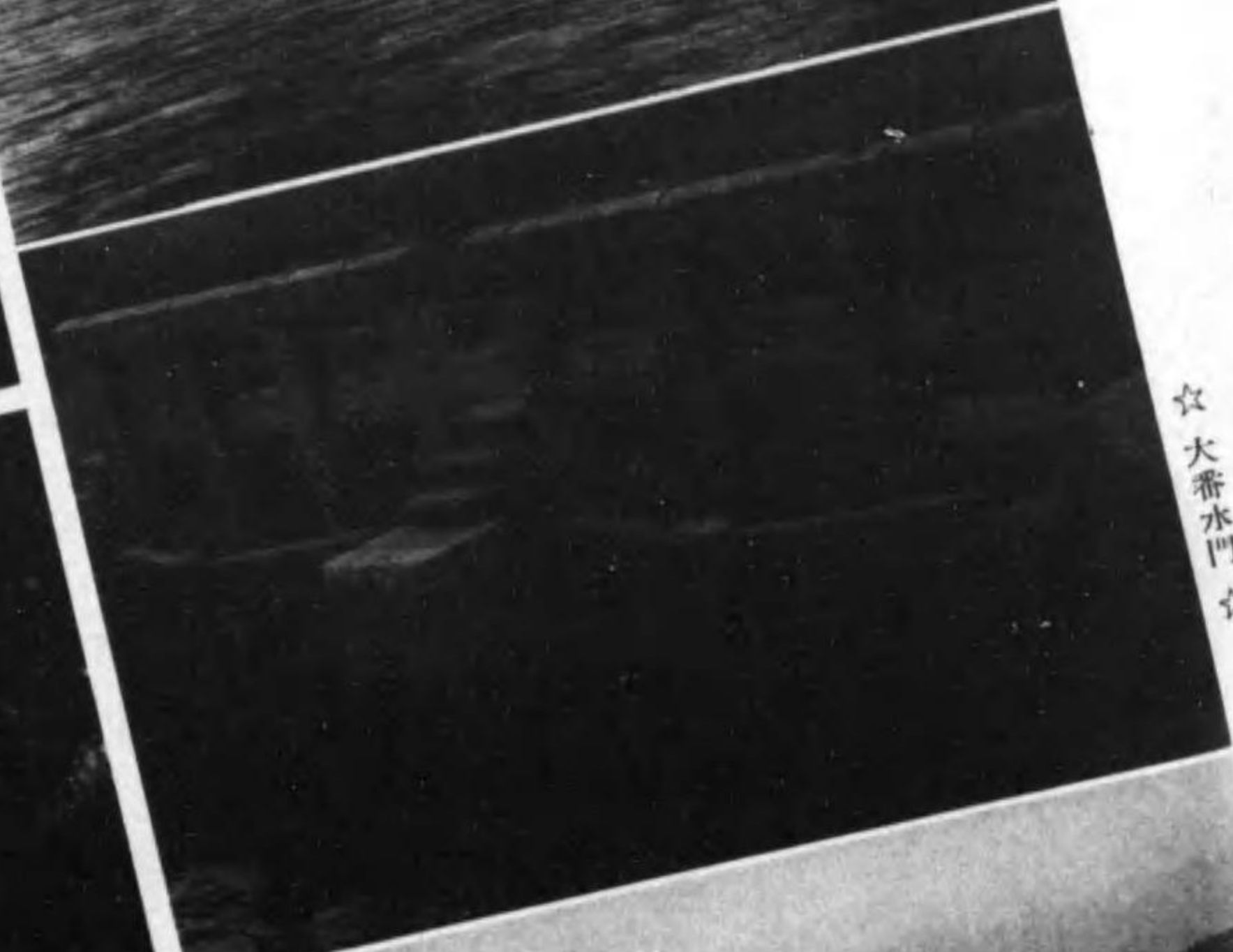
～橋尻川～



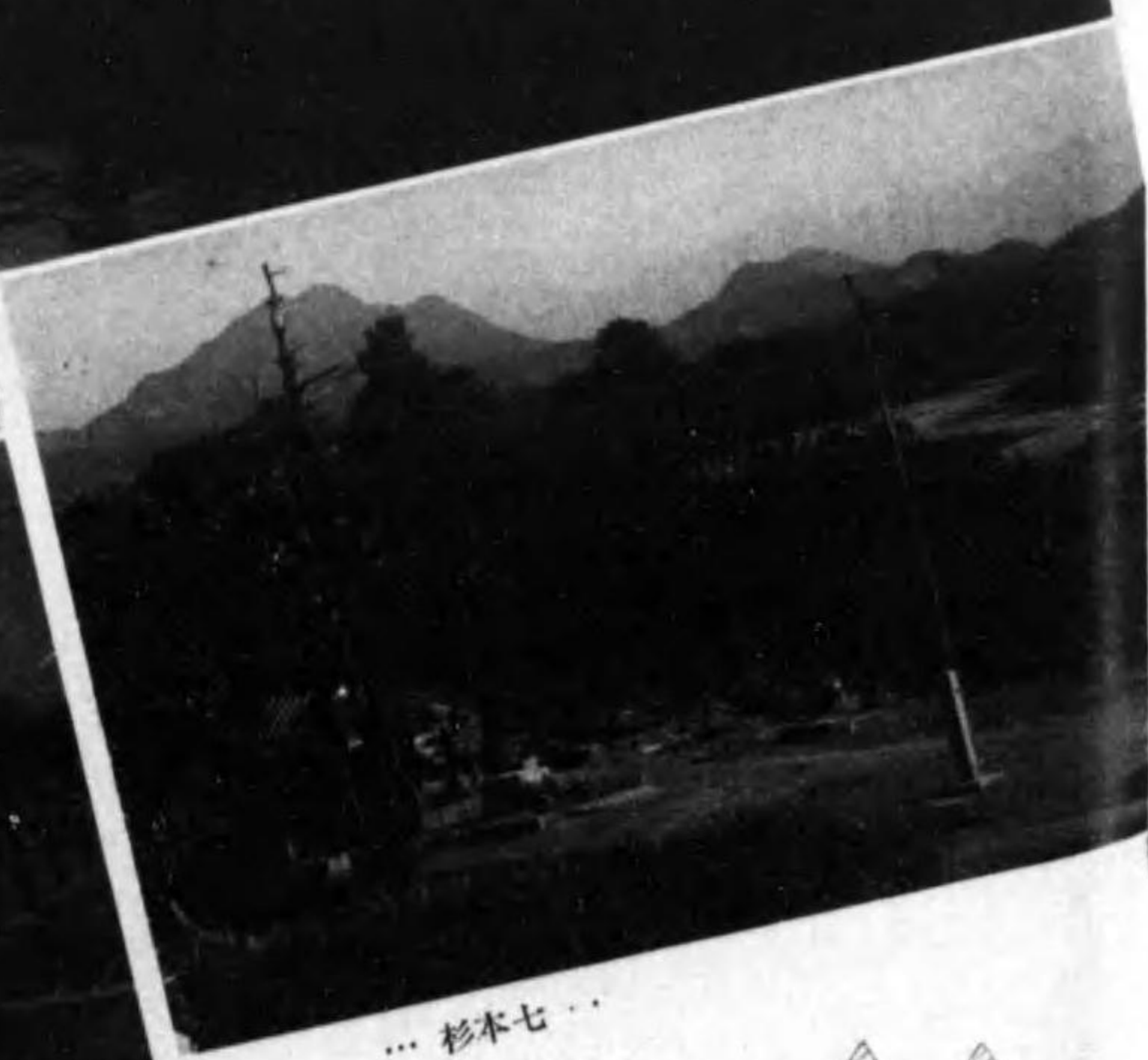
☆雄雄山☆



☆林田港☆



☆大番水門☆

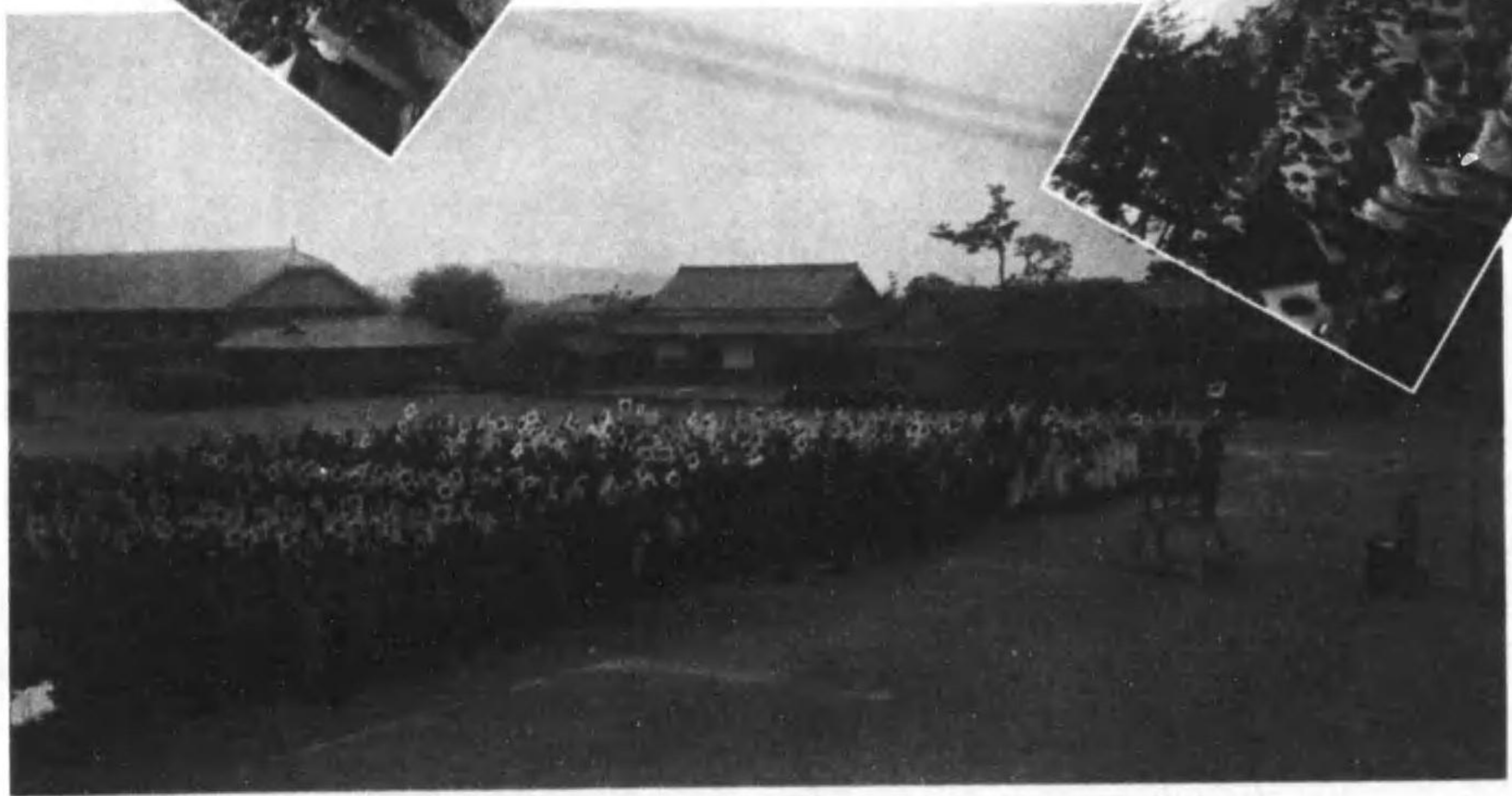


…杉本七…





吉紀の祭典
2600



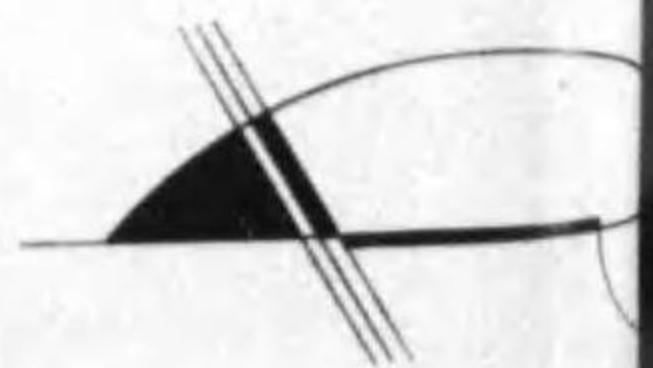
☆ 日獨伊三國同盟祝賀村民大會 ☆



☆ 式祝奉年百六千二元紀 ☆



☆ 列行旗祝奉 ☆

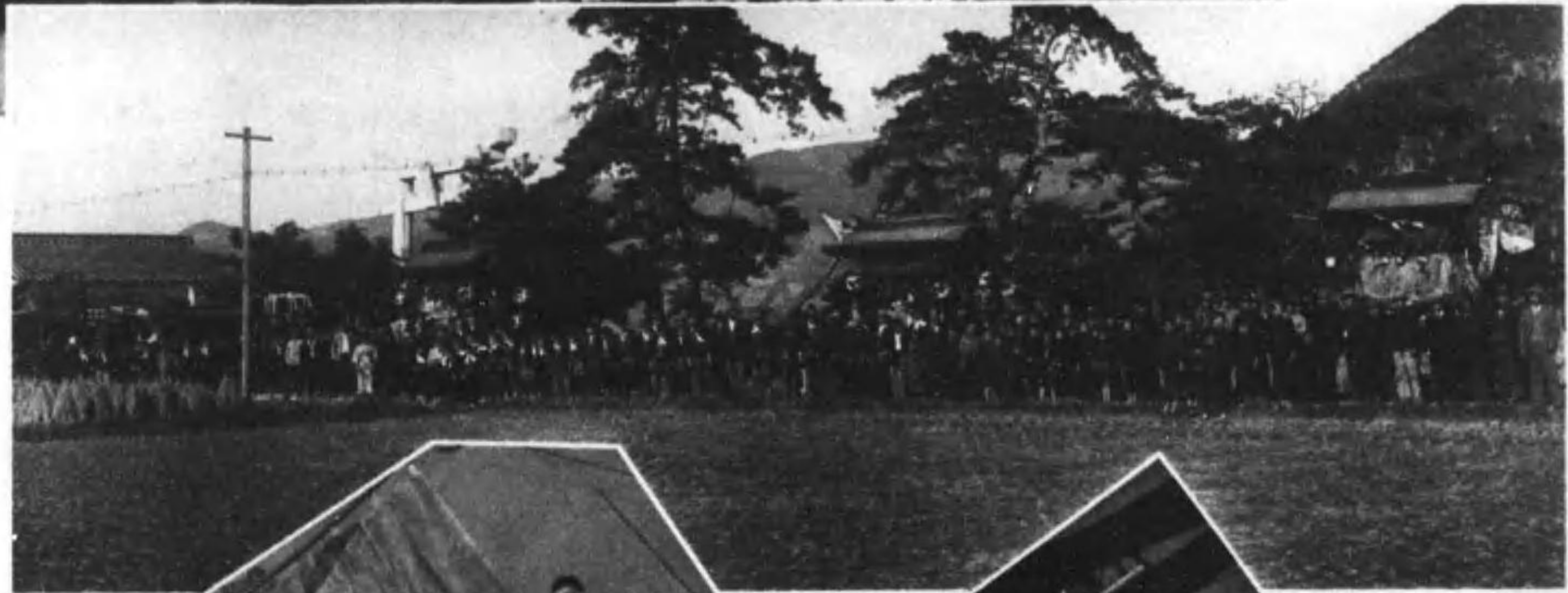


吉紀の奉祝

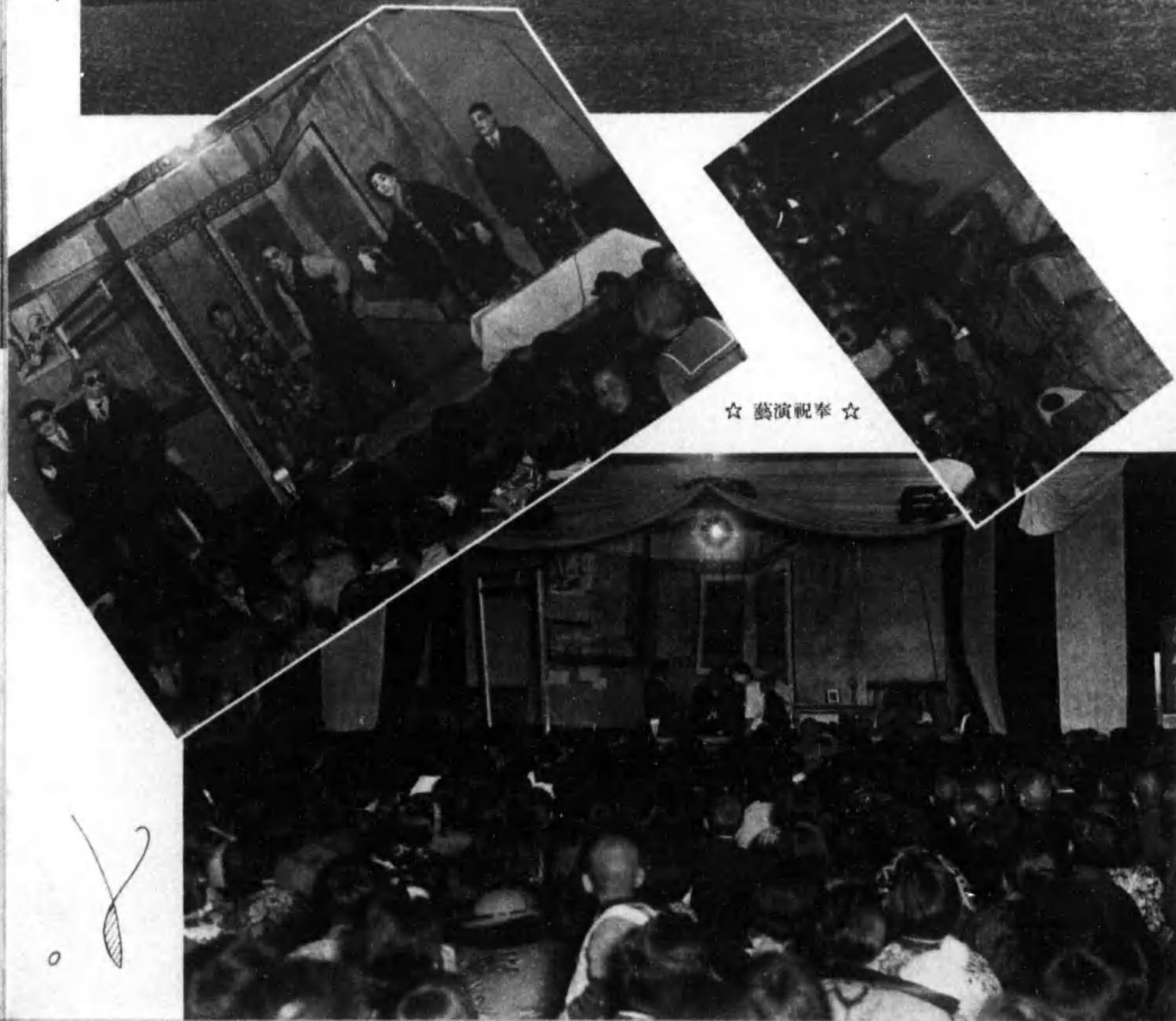
☆獅子舞☆



獅子台



☆藝演祝奉☆



8



跋

皇紀二千六百年ヲ迎ヘ吾村ノ現状ヲ後日比ニ傳ヘンタメ
 記念寫眞帖成レリ其ノ撮影セル所ハ村ノ神社、佛閣、ヲ
 始メ政治、教育、産業、經濟其他各種團體等發達活動ノ
 現況並ニ之ガ中心人物等網羅シテ餘ス所ナク依テ以テ一
 ハ懷古ノ資料トシテ一ハ後進者向上躍進ノ資料トシテ恰
 好ノ記念品タレツ夫ハズ吾村ノ至寶トシテ永ク子孫ニ傳
 ヘン哉

紀元二千六百歲十一月

林田村長 松浦和喜之進

編纂委員長
 全主任
 全委員

- 松浦和喜之進
- 北村正巳
- 猪熊(イロハ順)之助
- 入宮一馬
- 稻木角次
- 濱野金平
- 吉野淺吉
- 請川數之助
- 眞鍋森太郎
- 富家友太
- 藤本義政
- 藤井義政
- 福井義政
- 小早川耕竹
- 明石
- 牧石

撮影製作 坂出町

昭和十六年四月十五日印刷
昭和十六年四月二十日發行

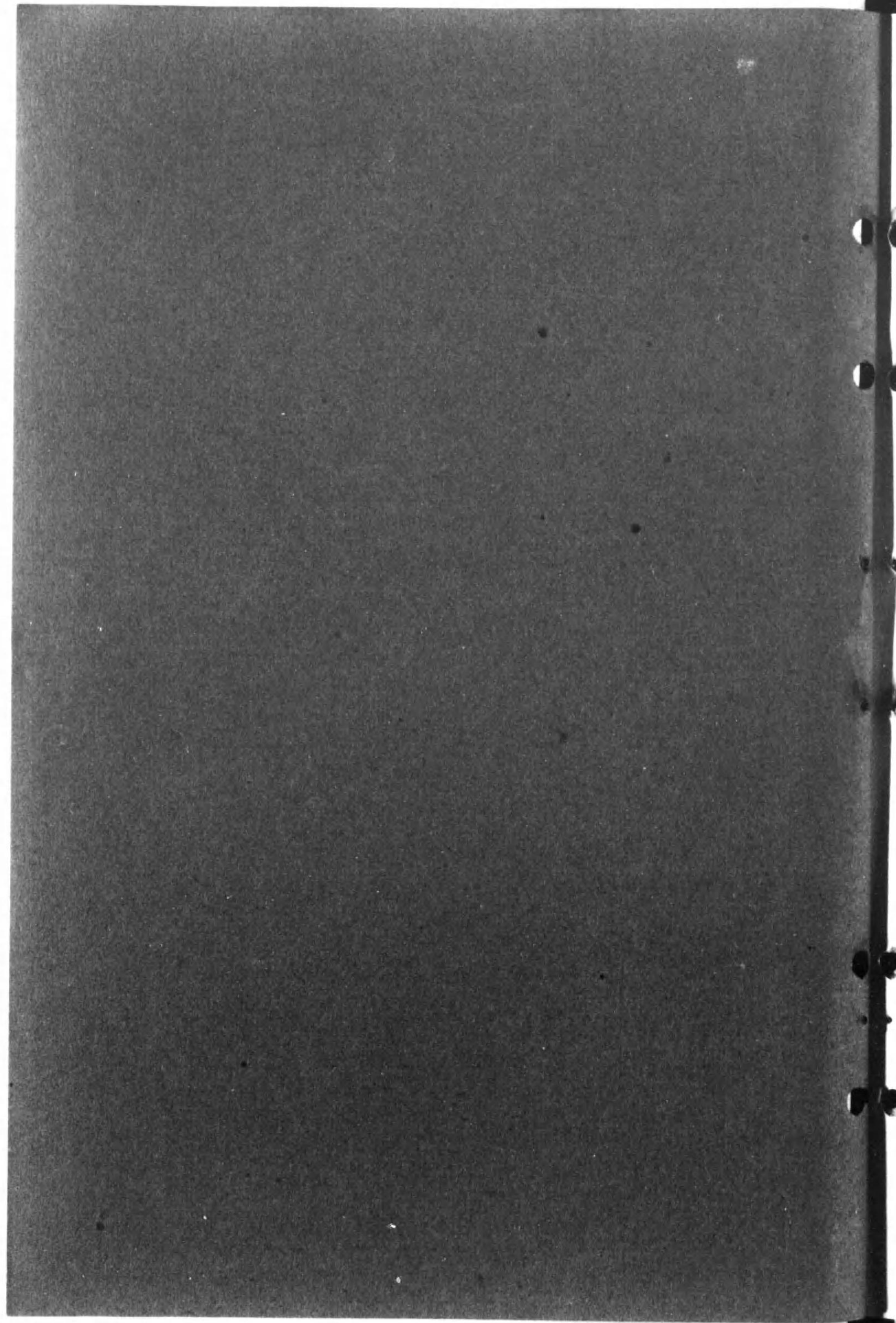
發行所 香川縣綾歌郡林田村六三六番地ノ五
林田村役場

編輯者 香川縣綾歌郡林田村二九番地ノ二
北村正巳

香川縣綾歌郡坂出町三七四番地ノ二

牧留社
吉本元徳

印刷者
(非賣品)



418
23

終

